

工3914

言一文一

# 實業往復用文

頭書類語 蔡光堂發行

附各種廣告文例

◎言文一致の事

言文一致とは談話體の文章といふことで文章を書く  
 に談話をする如くに書くものである然るに談話をす  
 るには其の言ふべきところが前後したり或は言遣ひが  
 亂れて聞取難いこともあるけれども是を文章に書く  
 ときは其の順序も立ち言遣ひも一定して是迄の候  
 を讀むも同じことで寧ろ事柄が分り易く且其の意に  
 思ふ通りに文章が書けるを以て近頃言文一致の必要  
 なことをいふのである成程一寸見る所では言文一致  
 は書き易い様であるが之には注意せなければならぬ

明治  
 27 2 10

事がある只談話をする如くに書けば宜しいとて言葉遣や假名づかひなごの上に関せずして書くときは人に笑はるゝことあれば一通は其の書方や假名遣などの事を言文一致の本に就て讀んで置くべし斯う言ふと又六ヶ敷様に思はれるかも知れぬが決して左様に深い考へも要らぬ一通の事さへ知るときは宜しい其の一通の事を一見して知るここの出来る爲めに左に概略を書いて置きますから讀んで置くべし

◎文の書き方

言文一致の文を書くにも初めの冒頭と終の結言とは書くべし即ち先冒頭には拜啓とか一筆申上ますとかより書始めて終尾には頓首とか早々とかを書いて結ぶべし例へば人が面會して話をするにも先お寒うとか御暑うとかの時候の挨拶もして御機嫌よろしう御座いますとか大に御無沙汰とか云ふことは定の文句である如し其の用事に至ては自分の言ふべき事を話をする様に書くべし而して其の文中に用ゆる語に是迄の候文と異なるものを左に掲げて示すべし

◎候の文字はますとかましてとか書けば宜し即ち「目出度申納候」と書くを「御目出度う存じます」と書くか如し又「奉謝候」と書くを

一致 實業往復用文目録

◎四季門

- ◎年始状……………一
- ◎全返事……………二
- ◎寒氣見舞の文……………三
- ◎全返事……………三
- ◎暑中見舞の文……………五
- ◎全返事……………六
- ◎歳暮の文……………六
- ◎全返事……………八
- ◎訪門の部……………
- ◎病氣見舞の文……………八
- ◎近火見舞の文……………九
- ◎洪水見舞の文……………十
- ◎類焼見舞の文……………十一

「御禮申上ます」と書くか如し

●候間 は「左様で御座いますから」と云ふ意になる ●奉存候は「存じます」といふ言にて ●御座候は「御座います」 ●下され度は「下さいませ」 ●仕候は「仕りました」致しましたと書くべし ●下さる可くは「下さいます様」 ●仕るべくは「仕ります」と言ふべし ●下され度は此方より願ふ言葉にて下さる可くは此方より命ずる意になると知るべし又仕候は過去の詞にて事の過去りたる時に用ゆるなり仕る可くは未來の言葉ではから爲すことに用ゆる

●敬語の事

人と談話をするにも自分より上たる人に對して言ふときと同輩といふとき又は親しい友人と話しすること夫々言遣が別なるものなれば此等の事も能く心得て書かねばならぬものなれば今其の一例を茲に記す

●被遊候 は上たる人に對する言にて之を言文一致に書くときは「遊ばしまして」と書くべし

●被成候 は同輩の人に對する言葉にて言文一致に書けば「成さいたしました」と書くべし此の言葉は友人にも用ひて差支なし友人には「爲賜へ」など言ふこともあれども同輩の人には之を用ひぬ方が宜し

●被成下度 は上の人に對して用ゆる言なれば之を言文一致にては「成して下さい」と書くべし又成被度は同輩の人に對する言葉なれば「して貴度」と言ふ様に書くべし茲に一言注意すべきは成され度と云ふときは此方から願ふ

●留守見舞の文	十一丁
●死去を吊ふ文	十二丁
●他郷に在りて父母の安否を問ふ文	十三丁
●遠國に在る友を訪ふ文	十四丁
●返事	十六丁
●病氣入院者を訪ふ文	十七丁
●慶賀門	
●開業を祝する文	十七丁
●返事	十八丁
●移轉を祝する文	十九丁
●全返事	二十丁
●婚姻を賀する文	二十丁
●出産を賀する文	二十一丁
●同上返事	二十二丁
●支店設置を賀する文	二十二丁

●褒状を受けし人を賀する文……………二十二丁

●報告門

●開業を報する文	二十四丁
●支店開業を報する文	二十五丁
●出荷を報する文	二十六丁
●着荷を報する文	二十六丁
●出荷延引を報する文	二十七丁
●商況を報する文	二十七丁
●雇人の解雇を報する文	二十八丁
●物價下落を報する文	二十八丁
●今上返事	二十九丁
●商業上の決算を報する文	三十丁
●物品買入の時機を報する文	三十一丁
●積荷の損害を報する文	三十二丁
●注文品の變更を報する文	三十二丁

意の時に用ゆる言葉にて成さる可くといふときは此方から命ずる言葉になることを知るべし

◎假名遣の事

假名遣は深く知ることは容易の事でないから言文一致の文を書くときに用ゆる國語假名づかひの一通を左に記して置くことす  
◎度 たう◎祝、賀 いはひ◎致しませう◎願 ねがひ◎草々 さうく◎障 さはり◎堪へ◎覚え◎別條 べつでう◎居 をり◎見舞 みまひ◎さうな◎思 おもひ◎同様 とうやう  
右は二三を擧げたるものであるが此外にもあるけれども普通常に用ゆるものは此位のことを知り居れば餘り人に笑はるゝこともなから

ん尤も假名は多く用ゐぬ方が文章も書き易く体裁も亦宜しければ其意して書くべし

◎手紙を書く心得

總て手紙を書くには先方の身分の尊きと卑きと職業等に依り禮を異にすべし上輩の人へ送る文は禮儀を重んじ苟にも粗畧にならぬ様に書き其他祝賀、悔文なども相當の禮を盡して先方の不愉快等の感じを起さぬ様に注意して認むべし朋友へ送る文に丁寧にも心易き問柄には不似合なり久々に人の様子を訪問する文などに簡短なるは其の情を尽さざるの嫌ひありて宜しからず殊に商用文は其の要用の事柄を專一として贅言を省き十分先方の得心する様に書くを第一とすべし又文章は成るべく穩當なる言葉を用ゐて商用などの進退にも

◎注文に應じ難きを報する文……三十三丁

◎依頼門

- ◎爲替を依頼する文……三十四丁
- ◎添書を依頼する文……三十五丁
- ◎西洋小間物賣捌を依頼する文……三十五丁
- ◎出京する人に商品見本の回送を依頼する文……三十六丁
- ◎製茶買入方を依頼する文……三十七丁
- ◎引札分配を依頼する文……三十八丁
- ◎丁稚の口入を頼む文……三十九丁
- ◎全上返事……四十丁
- ◎留守を頼む文……四十一丁
- ◎代理を頼む文……四十二丁
- ◎返事……四十三丁
- ◎保証人を頼む文……四十四丁

◎廣告文代作を依頼する文……四十五丁

◎預品渡方を頼む文……四十六丁

◎返事……四十六丁

◎商標案出を頼む文……四十七丁

◎忘物の送達を頼む文……四十八丁

◎全上返事……四十九丁

◎金子借用に付保証人を頼む文……四十九丁

◎全上返事……五十一丁

◎訴訟依頼の文……五十一丁

◎買物代金取換を依頼する文……五十二丁

◎石版印刷依頼の文……五十三丁

◎傳言を依頼する文……五十四丁

◎物品借用依頼の文……五十五丁

◎全上返事……五十六丁

◎轉宅に手傳を頼む文……五十七丁

餘過激なる文字を用ゆるときは當方の淺慮なるを看破れて笑はるゝことを知るべし兎角文は意を尽さずといふことあれば圓滑に意を尽くすことが肝要である

◎四季時候の挨拶

一月 寒さ厳う◎寒さ強く◎寒さ堪へられませぬ

二月 春と申ても未だ寒さ強く◎餘寒未だ嚴う◎春寒の時候

三月 追々暖になりました◎彌生の時節◎春の暖さ日に増し

四月 暑の時候に向ひました◎薄暑の時候で◎初夏の時節

五月 暑さを催しました◎入梅の時節◎梅雨未霽ませぬ天ながら

◎未霽ませぬ天ながら

六月 暑氣日に増し◎暑日に烈うなりまして暑さ堪へ難い時節◎暑さ焼が如く覺わ

七月 暑さ堪へ難い時節◎暑さ焼が如く覺わます◎極暑の時節

八月 殘暑未だ烈しう御座ります◎暑さ未だ去兼ます

九月 朝夕は涼しく◎大分暮しよく成りました◎秋氣を催しました

十月 冷氣を催しました◎冷氣が日に増し◎初冬の時節

十一月 寒さ日に加ります◎寒さを催しました◎次第に寒くなりませぬ

十二月 寒さ厳しう◎彌月迫に成りました◎自他の稱

◎他人の事を云ふには

◎物品鑑定依頼の文……………五十八丁

◎照會門

◎注文品不足に付出荷を問合す文……………五十九丁

◎雇人の有無を問合す文……………五十九丁

◎仕入先問合の文……………六十丁

◎全返事……………六十丁

◎旅行日限問合の文……………六十二丁

◎專賣品請賣に付問合の文……………六十三丁

◎全上返事……………六十三丁

◎代呂物直引問合の文……………六十四丁

◎全上返事……………六十五丁

◎商品需要の如何を問合の文……………六十六丁

◎全上返事……………六十七丁

◎歸店の日限を問合の文……………六十七丁

◎製造品の日限を問合の文……………六十八丁

◎計算誤謬を認めて問合す文……………六十九丁

◎全返事……………七十丁

◎荷物の着否を問合の文……………七十丁

◎全返事……………七十二丁

◎物品渡方問合の文……………七十二丁

◎出来台品の有無を問合す文……………七十二丁

◎全返事……………七十三丁

◎相場問合の文……………七十四丁

◎出品手續問合の文……………七十四丁

◎貸家の有無問合の文……………七十五丁

◎製品の都合問合の文……………七十六丁

◎注文品に付問合の文……………七十六丁

◎頼み置きし事を問合す文……………七十七丁

◎全上返事……………七十八丁

◎注文門

言文一體の文には餘り漢語を用ふるは適當でなければ普通のものを用ゆるを可とす

◎ 尊君 ◎ 尊兄 ◎ 貴君 ◎ 貴殿 ◎ 貴兄 ◎ 尊公  
◎ 自分(己)の事を云ふには  
拙者 ◎ 拙生 ◎ 私 ◎ 小生 ◎ 僕 (友人に對) ◎ 小子 (親對して) ◎ 野生 (用ゆる)

◎ 人の父母の事を云ふには  
尊父様 ◎ 尊老 ◎ 尊大人 ◎ 御親父 ◎ 嚴君 ◎ 御賢母 ◎ 母御様 ◎ 御袋様 ◎ 御令母  
◎ 自分の父母の稱

◎ 他人の子の稱  
親共 ◎ 家父 ◎ 愚父 ◎ 老父 ◎ 老母 ◎ 我母 ◎ 拙母  
御嬢様 ◎ 御令娘 ◎ 御子息 ◎ 御賢息 ◎ 御令子 ◎ 御長男様

◎ 我兄弟の稱  
家兄 ◎ 愚兄 ◎ 舍兄 ◎ 舍弟 ◎ 愚弟 ◎ 拙弟  
◎ 他人の兄弟の稱  
令兄 ◎ 大兄 ◎ 兄御様 ◎ 令弟 ◎ 賢弟 ◎ 御舍弟  
◎ 他の姉妹の稱  
御姉様 ◎ 御令姉 ◎ 姉御様 ◎ 妹御様 ◎ 御令妹  
◎ 人の妻を云ふには  
御令閨 ◎ 細君 ◎ 御新造

◎ 協付の事  
協付とは書簡文の左傍に書くことでは是も先方の身分に依りて區別すべきことなれば左に之を記して置くべし  
◎ 閣下 (高位高官に在) ◎ 玉机下 (上たる人) ◎ 侍史 (高官の用人) ◎ 同僚 (友人に對) ◎ 小生 (親對して) ◎ 野生 (用ゆる)

◎ 閣下 (高位高官に在) ◎ 玉机下 (上たる人) ◎ 侍史 (高官の用人) ◎ 同僚 (友人に對) ◎ 小生 (親對して) ◎ 野生 (用ゆる)

團扇を注文する文……………七十九丁  
返事……………七十九丁  
注文品の日限を變更する文……………八十一丁  
料理を注文する文……………八十一丁  
督促門  
賣掛代金催促の文……………八十二丁  
返事……………八十二丁  
來車を催促する文……………八十三丁  
返事……………八十四丁  
揮毫催促の文……………八十五丁  
証書の書換を促す文……………八十五丁  
送達門  
謝品と相違する見本を送る文……………八十六丁  
手附金を送る文……………八十七丁  
旅行先より取引の模様を報じて送金を申

送る文……………八十八丁  
出版の書籍を見本に送る文……………九十八丁  
全返事……………九十九丁  
注文の差直と相場の相違するを申送る文……………九十九丁  
全返事……………九十九丁  
宴會入費の謝前を申送る文……………九十二丁  
謝絶門  
注文受けたる品を斷る文……………九十三丁  
約束を斷る文……………九十四丁  
品物賣捌を斷る文……………九十四丁  
謝禮門  
得意先周旋を謝する文……………九十五丁  
全返事……………九十六丁  
仕入先へ紹介を受けたる禮狀……………九十七丁

紙に用ゆ

◎家又は其の親族に付ての言葉(他人の分)

- 御尊家◎御一同◎御一族◎御渾家◎御一統
- 尊宅◎貴宅◎御宅◎尊店◎貴家◎貴店◎尊堂
- ◎自己の家又は一族
- 拙家◎敝屋◎私宅◎自分方◎拙店◎下店
- 私店

- ◎他人の安否を問ふ時
- 益◎御機嫌宜しく◎益◎御壯健◎益◎御清福
- ◎御萬福◎御安全◎御安泰◎御勇健◎御無事
- ◎御繁榮◎御隆盛
- ◎自己の安否を書く時の言葉
- 無事に暮して居ます◎無事に打過て居ます◎
- 皆々健全であります◎一同健康で◎障なく日

を送つて居ます

◎手紙の認め方

手紙を書くには能く注意して其の体裁の見苦しからん様にすべし餘り粗漏なる書き様は其の人の信用と威容とに關するものなればなり是も禮儀の一なりと心得べし去れば走り書なごして文字の乱れて讀み難く又は脱字塗抹なごのあるは先方に對して禮を失ふに當るなり殊に慶賀吊詞等の時は前にも述べたる如く文字の用ひ方即ち言葉の遣方にも注意せねばならぬものであることは申す迄もなし即ち此等の手紙を書くときには天地の明方行の明方餘白の明方などに氣を附けて体裁よく見苦しからぬ様にすべし今其の法式を左に記すべし普通の手紙には用ひぬ事なれども禮儀を重ん

- ◎滞在せし家に謝する文……………九十八丁
- ◎全上返事……………九十九丁
- ◎旅行先より紹介の勞に謝する文百丁
- ◎紛議仲裁の勞を謝する文……………百丁
- ◎招請門
- ◎祭禮に人を招く文……………百二丁
- ◎壽延に人を招く文……………百二丁
- ◎全上返事……………百三丁
- ◎開業祝に人を招く文……………百三丁
- ◎全上返事……………百四丁
- ◎全快祝に人を招く文……………百五丁
- ◎佛事に人を招く文……………百五丁
- ◎催設門
- ◎送別會を催す文……………百六丁
- ◎懇親會を催す文……………百七丁

- ◎商業談話會を催す文……………百八丁
- ◎全返事……………百十丁
- ◎直下相談會を催す文……………百十一丁
- ◎全返事……………百十二丁
- ◎忠告門
- ◎製造品に付忠告する文……………百十二丁
- ◎取引先に付き忠告する文……………百十四丁
- ◎全返事……………百十五丁
- ◎人の遊情を戒むる文……………百十六丁
- ◎大酒を戒むる文……………百十八丁
- ◎忠告を受けしを謝する文……………百十九丁
- ◎商業雜門
- ◎博覽會へ出品を勸むる文……………百二十丁
- ◎全返事……………百廿一丁
- ◎會社へ加入を申込れたる返事……………百廿二丁



する手紙は書き初めの處を己が手の掌を置く  
 丈の餘白を明けて書くべし  
 天地の明方は成るべく上を詰めて下を明ける  
 を可とす而して下の明方は凡そ五分程に明く  
 べし  
 行の明方は 貴人に贈る手紙程多く明けるべ  
 し同輩又は自分より下の者への手紙は只見苦  
 しからぬ丈にすべし  
 餘白とは手紙の終りに白き處を設くることに  
 て是は其の先方の人に依りて宜しく加減すべ  
 し  
 商業上常に往復する文章には書式などの事は  
 格別言はずとも可なれども只注意すべきは事  
 柄の明了にして先方の人能く其の文意を解  
 することの出来る様に且一言一句も無用の語

◎ 留守中見舞を謝する文……………百廿三…  
 ◎ 人の性質を問合す文……………百廿四…  
 ◎ 郵便條例摘要……………百廿四…  
 ◎ 附録目録  
 ◎ 言文一致の事……………  
 ◎ 文の書き方……………  
 ◎ 敬言の事……………  
 ◎ 假名遣の事……………  
 ◎ 手紙を書く心得……………  
 ◎ 四季時候の挨拶……………  
 ◎ 自他の稱……………  
 ◎ 他人の稱……………  
 ◎ 自分の事……………  
 ◎ 人の父母の事……………  
 ◎ 自分の父母の事……………

句を用ゐぬ様にすべし商業上の手紙は之を保  
 存し置くべき事は法律の規定にもある程なれ  
 ば後日の証據とも爲すべきものを乱筆に書て  
 無用の語又は自己に不利益なる文句などのあ  
 るときは後に悔ることあれば能く注意すべき  
 ことである去るに世の商業家には随分不注意  
 なる手紙を送る人あるを見るは甚だ片腹痛き  
 次第なれば茲に一言を記し置くなり

◎ 他人の子の稱……………  
 ◎ 我子の稱……………  
 ◎ 我兄弟の稱……………  
 ◎ 他人の兄弟の稱……………  
 ◎ 他人の姉妹の稱……………  
 ◎ 人の妻の稱……………  
 ◎ 脇附の事……………  
 ◎ 家又は其の親族に付ての言葉……………  
 ◎ 自己の家又は一族の事を云ふ言……………  
 ◎ 他人の安否を問ふ時の言葉……………  
 ◎ 自己の安否を書く時の言葉……………  
 ◎ 手紙の認方……………

目録尾

手紙文類語

●年始状

新年の慶賀●新  
禧の嘉祥●月日  
に關守なし●今  
年は今年ほど思  
ふ中に早一年は  
過去りまして何  
の爲すこともな  
し●又今年も相  
變らず御引立を  
願はねばなりま  
せぬ●併せて貴  
家の萬福を祈り  
ます●何れ日永

一致文 實業往復用文

四季門春夏秋冬の四時の

●年始状

光陰は矢の如しと申しまするが三十四年もは過  
過去まして新なる明治三十五年に換りました先  
以て貴店皆々操御機嫌よく御年を重ねられました  
てお目出度存じます弊店も一同無事に新年を迎  
へましたで御安心して下さい叔去年中は一方な  
らぬ御引立に預りまして有難う存じます猶本年  
も相變らず舊に倍し御負の程願ひ上ます先は

の時にお目に懸りまして御祝ひ申上ます

●全返事

早くも新年の御賀に預りまして

●皆健全で年を重ねました●叔父様も叔母様も御揃へで御祝ひ成されて結構です●未だ新年といふばかりで

●寒氣見舞の文

春とは申しながら昨日より寒に入りまして寒さ一層厳しうあります●斯な寒い年は覺わぬ位であります●御地の寒さは格別と想ひます●日々炬燵の番をするが仕事です

●全返事

此頃の寒さには實に困入つて居ます●御地とは

年始の御祝詞申上たく存じまして恐々謹言  
追て舊冬御注文の品は近日の中に取揃へ初荷  
として差送りますで左様御承知して下さい

●全返事

新年御賀の御手紙忝く拜見致しました貴店皆様御揃御萬福に御年を超はられまして御目出度存じます下店も皆々無事に年を加へましたで憚乍ら御安心して下さい未寒さ強う御座いますから御身御厭專一に存じます先は御返事まで早々二白去年の暮の注文品初荷に御送下さる由承

知致しました其節御序に石油の初相場一寸御聞かせ下さい御頼み申上ます

●寒氣見舞の文

拜啓寒に入りました兆候にか寒威甚だ嚴う御座いますの貴店にては御一統御障も御座いませぬか當地などは近年稀なる大寒にて雪は毎日降積り終日快晴の日を見る事は少い程であります為に商賣も一向出来ませず殆冬籠の姿で困入ります御地も定めて此頃は朔風耳を劈といふ有様と想像致します猶防寒の御手當第一に祈ます先は寒

氣御見舞申上度と存じ草々

◎ 返事

格別寒い處で御同様商賣も全く休業の有様です◎私社は申譯ない御無沙汰致して居ます◎御身体を大切になさるが第一です

◎暑中見舞  
炎威燬が如しとは此頃の時候をいふのでありませう◎汗は流れて衣服を濕し此苦しきは實に堪

仰の如く此頃の寒氣は實に堪へ難く覺はます先以て貴店皆々様御別條もなく御暮の由何より芽出度存じます私方も御蔭で異りなく過し居ますから御案じ下さいませぬ様願ます當方より御尋申上ます筈でありますに却て御見舞に預りまして愧入ます憚乍御一統様へよろしく御傳言願ひます御推察の通當地も昨今非常の寒さです弊店の商賣は冬になると景氣の宜しいので此頃

も御蔭で相應に忙しう御座いまして喜んで居ます先は御返事まで

◎ 暑中見舞の文

へられませぬ◎日々氷を頼に日を送つて居ます◎暑さを忘れる第一の品であります

◎返書  
日々暑い暑いといふて暮して居ます◎此頃は別して暑い事です◎日の暮るのを待て居る様な事です◎今年は流行病が無いのが

拜啓當年の暑は格別にて凌ぎ兼ます貴店は如何御暮して御座いますか寒い時候も凌ぎ難いものであります暑の燬が如きには殆困ります此麥酒少しであります暑中御見舞の印にまで差上ます暑凌の一助にもなして下さいますならば満足に存じます借當年は夏物の賣行は如何で御座いますか何卒澤山御注文願ひます先は暑中御見

何より結構です

◎歳暮の文

早今年も暮ました  
◎只年を重ねるばかりです  
◎近年は毎年暮になると不景氣の聲が高い◎商賣は全く遊びです◎初賣の御仕入は如何です◎田舎の正月にもなりましたならば少しは景氣が直ると想ひます

舞旁早々

◎返

書

御諭の如く炎熱燬がやうに覺えますが御一同御障もなく御消光なさいまして結構に存じます弊店も御蔭で無事に打過て居ります時節柄何よりの品御恵み下さいますして有難う存じます是にて當分暑さを凌ぎますと樂みにして居ます皆様へ宜しく御禮申して下さいます當年夏物は弗々賣捌きすめ未だ品物は澤山ありまするで其内に注文致します御店で只今白金巾上等の品で何程して居

◎全返事

近年は兎角不景氣で商賣の閑には困ります◎當地は春の銀行破綻が大に影響したるものであります◎品物は成べく年内に御送り下さい◎直段の安い品を送り下さい◎病氣見舞不快で臥せつて居られますか◎

りませるか一寸御報知を願ひます

◎歳暮の文

本年もはや彌押詰めまして賑御事多御座いませうとお察し申上ます皆々様御機嫌よく御暮じなさいませるか當地は非常の不景氣にて金融逼迫隨て新年用意の仕入向も田舎よりの客少く殆ど店頭にて手を拱居る有様にて困ります貴店の御注文は如何最早餘日もありませんか例年の通新年早々に送ること致しませるか歳暮御見舞旁御尋申上ます草々

此頃一向店にも御顔を見ませぬがと申して居ました。仲間の集會で一寸聞きました。

◎近火見舞 定めて御心配なされた事と存じます。◎品物の損失はありませぬ。んだか◎早速駆付ける筈でありましたが◎折節商用へ出て居り

◎返 事

愈月迫となりまして無御繁忙で入らせられませう。御地は商況不振の趣當地も御同様で困て居ます。歳末の不景氣は近年例になりたる様に思ひます。す下店正月の仕入は陰曆正月前に注文致します。から一月半頃送荷下さい。其内に品書差上ます。先は御返事まで草々

◎訪問の部人の安否を尋る文

◎病氣見舞の文

拜啓承ますれば貴兄此程より御病氣であります。

◎洪水見舞

日々雨が降續ました。したがとうぐ洪水となりまして◎餘程大水が出まして◎近年稀なる慘状を見ました◎商品も多分流失致し

◎類焼見舞

昨夜は大火にて◎折節北風烈しく◎無論代出物も焼失の事と存じます◎土蔵は

どうな驚きました。御容体は如何です。此頃は別して寒さ烈しくあります。折角御養生なされ一日も早く御全快を祈ます。御病氣中は御注文の品積送の義は見合せ申ます。事に致します。から左様御承知して下さい。先は御見舞まで草々

◎近火見舞の文

昨夜は御近傍よりの出火にて定めて驚きなされ。たでありませう。と。お察し申ます。併し御宅は御別條もなき由何より結構で御座います。併し御用心に品物は御片付になりました。たでありませう。就まじ

残りましたか  
商品は土藏へ御  
仕舞なされ  
速駈附まする筈  
でありませんが  
◎相應の御用も  
ありますれば  
◎留守見舞  
御渡航中は嘸御  
淋く御座いませ  
う◎御主人より  
は御便がありま  
したか◎同業者  
の爲めに御苦勞  
なされ◎交通便

て相應の御用も御座いますならば御遠慮なく御  
申越下さい先は御見舞まで早々

◎洪水見舞の文

此程の大雨にて洪水が  
堤防等破損の箇所も少  
地は如何御案じ申して  
土地が高見であります  
は若やと存じ取急ぎ御  
注文の品も御無難の御  
見合せて居ますから至  
急に御報知して下さ

利の時とは申し  
ながら◎商用で  
他行致して居ま  
したので◎大に  
商業の爲めに得  
をして歸られま  
せう  
◎死去を吊  
ふ文  
藥石効がなく◎  
何分御老体であ  
りますから◎御  
愁傷お察し申上  
ます◎商賣上に  
は御熱心であり

◎類焼見舞の文

昨夜の失火にて貴家御類焼の由驚きま  
統様御怪我もなく御立退なされま  
御當惑して居れませうと  
固な土藏の御座います  
なりました由御不幸中  
重酒一樽御見舞の印に  
りますれば御遠慮なく  
まで早々

◎留守見舞の文

ましたが  
 ◎他郷に在り  
 て父母の安  
 否を問ふ文  
 御両親のお膝元  
 を離れてから早  
 や三年になりま  
 した◎伯父様伯  
 母さんも可愛が  
 つて下さる◎日  
 々商賣に勉強し  
 て居ます◎御兩  
 親の事を思はぬ  
 日とてはありま  
 せぬ

拜啓御主人様商業御視察の爲め御洋行なされま  
 して御留守中御無事に御暮しなされ居られます  
 か御着先より商況等の好き御便も御座いました  
 か遠き外國の御旅行何れとお心に懸ります事と  
 存じます私も時々参りまして御見舞申上る筈で  
 あります此頃は取込居ますので一寸手紙で御  
 尋致します何れ近日御目にかゝり御見舞申上ま  
 す草々

◎死去を吊ふ文

拜啓御尊父様長々御病氣でありましたが御養生

◎遠國に在る  
 友に送る  
 御互に學校で親  
 うして居つた時  
 に君は何時も優  
 等生であつた◎  
 僕は商業學校に  
 入り今年は三年  
 生になつた◎今  
 は商業でなけれ  
 ば立身は出来ぬ  
 ◎君は實地に就  
 て行れば捷徑で  
 ある◎近頃君の  
 様子を知り度と

相叶ひませせずとゞ御死去なされましたさう  
 です御重症にてはありましたなれども未だ此回  
 の事とは思ひませなんだに實に御一統御歎きの  
 事とお察し申上ます此の一封輕少でありますが  
 香料としてお位牌に供へます何れお目にぬゝり  
 御悔申上ます

◎他郷に在りて父母の安否を問ふ文

其後は御無沙汰で申譯が御座いませぬ父上様始  
 め皆々様お變りもありませぬか私はお蔭で無事  
 に暮して居ますから御安心して下さい當地は近



思ふて◎人は三年見れば目を晒して見よといふが君の事をいふたのであるか  
 ◎返事 世の中に朋友は大切なるものである◎昔から石の上にも三年といふ◎且君の事を思はぬ日はない◎假令ひ山河を隔つればとて心は同じ竹馬

来商業の景氣至つて宜しく當店なども忙しう御座います殊に私方の店は夏向の品でありますから此頃は別して多忙で御座います私も商業には餘程慣て来まして追々主人の信用を得ますゆゑ喜んで下さい申上度事は澤山ありまするけれど後便で委しく申上るとにします尚時節柄追々暑厳くなりますから御身御大切專一に存じます草々頓首

◎遠國に在る友を訪ふ文

一度君と別れてから最早三年を経たが君は御社

の遊びをして居る氣ぢや◎今は實業が第一と先見否卑見を抱いて居る◎他事ながら御安心して下さい  
 ◎入院者を訪ふ 此頃は御入院なされたこの事◎兎角養生が第一ぢや◎御留守居の人より聞いた僕はその院長

健で益商業に御熱心の事と喜んで居る僕は碌々日を送り實に御取かき次第である人間は親の膝下を少年の時より離れて他國に行き他人の飯を食ふた者でなければ埒が明ぬと思ふて居たが今君の上成就て果せる哉と感じた君今よりも折角耐忍と勉強とを以て適商業界に身を起したまへ其の時には僕等は指を咬へて後に瞠若たりぢや併し才智に乗りて輕卒に涉るときは失敗を来すことあれば何事も慎重に爲たまへ先は貴兄の近況御尋旁々草々

に心易い●拙者の知合の看護婦を周旋する

●開業を祝す  
御尊を聞いて居つた●時勢に適當したる商業●日増に御繁昌●御得意が廣い●信用が第一●商賣の道は異なるもので

●全返事  
開店は致しませした●諸事整ひ

●返事

御手紙拜見是より社申譯ない御無沙汰に打過しが貴兄先御壯健で結構です一別以来早三秋を経たとは烏兔匆匆々實に驚くべき也叔拙者は此地に到着後は御蔭で諸事好都合で今日にては目的の端緒を得たれば御悦び下さい尚一層の奮發を以て素志を達し相當の商人とならんと勉強して居ります君の御忠告は終始忘れず生が立身の賜とせん何卒此上ながら御愛顧を願ひます憚ながら貴家御一同様へよろしう御傳へを願ひます

●病氣入院者を訪ふ文

●漸く開業の運に至りました●諸君の御引立に預らねば●品物相揃ひ●別段直安に買捌き●輸入品ばかりで●外國直取引して●移轉を祝

拜啓御入院後御病氣は如何の御容体です時々御見舞申上べく答なれど多忙に取紛れて圖らず失敬しました定めて日々御快方とは存じます●兎角不順の時候御養生が第一であります病氣は氣を引立るが肝心でありますから御商業の事などは御忘になつて保養をなさい拙者も其内一度參上御見舞申上まず先は取敢ず御見舞まで草々

●慶賀門  
人の吉兆好事ありし時喜びの手紙を贈る

●開業を祝する文

●段々御盛大●人目を驚かす程の新築●今より

●慶賀門

一層商業も御繁昌  
●高樓大厦の美觀  
●御祝として  
●參上拜見を願ひます

●全返事  
粗造なる普請  
●耻しい次第で  
●少々廣くなら  
りました●内祝  
を致しますから  
何の御馳走もあ  
りませぬけれど  
も御越し下さい  
●一度来て御覽

拜啓兼て御計畫の御商業愈御開業になりました  
さうです實に大慶の至に存じます諸事御手馴の  
貴君殊に御場所柄と申し直に御盛大の御事と察  
します拙者の知己友人にも御吹聴致しますから  
折角御勉強なさい先は御祝まで草々

●返事

兼て御咄申し居りました商業此程漸く開業の運  
になりましたして昨日開店致しました早速御祝の御  
手紙に預り耻入ました何分不馴の拙者なれば萬  
事諸君の御指圖を受けて勉勵致す覺悟であります  
すから御引立の程を願ひます不日開店の内祝を  
致しますから其節は御縁合せ是非とも御入来下  
さい日限取極め次第御案内申上ます先は御禮ま  
で草々

●移轉を祝する文

兼て御普請中の新築此程落成して愈昨日御引移  
になりましたしてお目出度存じます定めて立派な御  
建築で御商業の都合も一層宜しき事と存じます  
何れ參堂拜觀致したいと存じて居ります此酒壺  
樽輕少なから御祝儀の印までに進上致します先

下さい  
●婚姻を賀す  
媒介がありましたし  
て誰様と御結婚  
なされ●千鶴萬  
龜目出度存じま  
す●御孝心深き  
御方と承り●御  
家御繁昌の基の  
と存じます  
●出産を賀す  
兼々御案じ申し  
て居ました●安  
々と御分娩成さ  
れ●御兩親様も

●慶賀門

無御歡びであり  
ませう◎追々お  
肥立でありませ  
う◎産後は御身  
大切が第一と存  
じます

◎返事  
思ひの外安く産  
みまして兩人共  
健全で居ます◎  
何れ又末は御厄  
介になり

◎支店設置  
御商業擴張なさ  
る由◎本支共

は御歡まで草々

◎返 信

今度新築落成しまして移轉しに付御祝ひ下され  
其上結構の品御恵に預りまして痛入ます粗造の  
新築とて御祝ひを受けて耻入ます舊宅とはた  
少々手廣になりましてたので商業の上には都合よ  
くなりまして御暇の節には御遊びに御越し下さ  
い御待申上ます御禮かたぐ草々

◎婚姻を賀する文

拜啓御令息今般御新婿首尾よく整ひなされまし

御繁昌◎中々御  
盛大の事です◎  
貿易品の御商業  
には至極適當で  
す

◎褒状を受け  
人を賀す文

平日商業に御熱  
心の功あらはれ  
◎審査が正うし  
て◎昨年も有功  
賞を受けられま  
したが亦今年も  
受けられました

◎優勝劣敗の今

て御目出度存じます皆々様の御歡びさぞとお察  
し申上ます今より御商業も共に御盛大の御事と  
存じます此の松魚一折御酒一樽御祝の印まで  
進上します末永う御受納下さいますれば満足で  
あります草々謹言

◎出産を賀する文

拜啓承りますれば御令閨昨夜御出産なされ殊に  
御男子との事何より結構です御一同も無御歡び  
の事と存じます拙者過日来商用にて旅行して今  
日歸宅承りて喜んで居ます此紅木綿一反御祝の

日◎同業者名譽  
であります◎今  
より一層の御勉  
勵を以て

◎開業を報ず  
兼て御配慮に預  
つた開業諸事整  
ひましたので◎  
此上は諸君の御  
指圖で◎不馴の  
事でありまする  
から◎十分働いて  
置きます◎御高  
評を願ひます

◎支店開業

印までに差上ります猶御産後御両所とも御大切に  
なごい草々

◎返 事

御手紙拜見兼て御案じ下さつた出産も昨夜安く  
分娩しまして母子とも健全で肥立て居ります御  
商用にて御他行中とは存じませずに居りました  
が御歸宅なされまして早速御祝下さい有難う存  
じます何れ御目に懸りて御禮申上ります先は御請  
まで頓首

◎支店設置を賀する文

今一層手廣く營  
業致度◎御蔭で  
追々品物が賣捌  
けますので◎兼  
てより望んで居  
ました事で幸  
適當の場所があ  
りまして◎或人  
の勧めに依り  
◎出荷を報ず  
此度御注文の品  
々悉皆取揃へま  
して鐵道便に差  
出しました◎何  
品々は本日積送

此度長崎表へ支店御設けになりましてさうです  
御營業益々御盛大お目出度存じます同地は貴店  
の御商業には適當の土地柄でありますから御本  
店同様日増御繁昌の御事と察します當店も長崎  
には取引商店澤山ありまして度々出向ますから  
御用も御座いますれば承ります先は御歡びまで  
草々

◎褒状を受けし人を賀する文

拜啓今回の物産品評會に貴店の織物は第一等の  
優功賞の褒状を受けられたと承りまして歡ばし

ました何日頃迄には到着の積りです

●着荷を報する文

何品早速御送り下されまして御手数でありました●取敢ず御報知迄●送状と引合せ正に受取ました

●出荷延引を報する文

常今賣切になつ

う存じます而して獨貴店の御名譽ばかりでなく當市の面目であります尚此上にも御勉勵爲して有益を圖りなさい今日は何事も競争の折柄でありますから其中で名譽の褒状を受けれることは容易の事ではありませぬ此名譽を何時までも墜さぬやうになさるが肝要であります先は御歡びませぬ

報告門 事故のありし時其模様又

●開業を報する文

兼て御咄申て居りました織物店今度いよく開

て居まして●早速取寄●二三日御下さい●御間に合兼ます

●高況を報する文

近來輸出するものが多いので●輸入品を防ぎ●上景氣で●直段に抱はらず●非常の騰貴下す●投資の姿です●當分下落の見込みと思ひます

業致しましたから何卒御引立の程を願ひます又御知合の方々へも御吹聴の程ねがひます一寸開業の御披露まで草々

●支店開業を報する文

其後は御無沙汰に打過まして申譯が御座いませぬ叔今度都合に依り大阪東區何町に於て支店を開きましたから本店同様御引立の程を願ひます尤品物は土地の便利に依りまして本店よりは廉價に差上まず積で御座います何卒御知己の先様へ御吹聴して下さい此事御報知申上たいと存じ

●報告門

●雇人解雇

弊店の使用人何某不都合が有

まして一切御取合なく如何様の事申出るも

●物價下落 委託になつて居る何品日々低

落する一方です

●只今賣拂は損です其内に景氣

も取直します今暫く御見合せ

然るべくと存じ

草々

●出荷を報ずる文

先日は御注文下され毎々御引立に預り有難う存じます御品書の通り残らず取揃ひまして本日某運送店へ託して送付りました到着の上は送り状に御引合御受取下さい先は御報知まで以上

●着荷を報ずる文

何日日本運輸會社へ御差出の書物送状の通り本日到着しまして慥に受取ました後より委細は申上る事として唯受取の御通知まで申上ます

ます

●返事

何れ遠からず復

舊の見込です金融の緩慢に連

れての事と思ひます爲替相場

の變動です市場の形勢中々侮

られませぬ對清貿易上より見

るも資金の流動を示して賣

惜みをする時の來るを待ちます

●出荷延引を報ずる文

今回御注文の品の中何品丈は仲間何方にも品切になつて居りました四五日中には出来まます都合で御座いますから出来次第送りますけれども夫が爲め少々延引します御待兼とは存じますが右様の次第御承知下さい一寸念の爲申上ます

●商況を報ずる文

御尋の何品只今の景況では弱氣でありますけれども此度此四五日の中には直段を引騰ます見込です昨今の相場にて上物何圓中物何圓下等で

●決算報告  
 月迫に及びまして  
 ①愈々本年も僅  
 の日數となりま  
 した  
 ②餘程資金  
 も増えまして一  
 同大慶に存して  
 居ます  
 ③全く一  
 同の勉強に在る  
 と喜んで居ます  
 ④昨年と比べま  
 して二前方の増  
 額であります  
 ⑤御改め下さい  
 ●物品買入時

何圓位で取引して居ります其中中物の捌方が一  
 番宜しいとして今から益騰貴する見込です今日  
 の處では先づケ様でありまするけれども景況が  
 變りましたら早速御通知致します  
 ●雇人の解雇を報ずる文  
 弊店に是迄使用して居ました何某儀今度都合に  
 依り解雇致しましたから以後は一切同人と關係  
 ありませんぬから皆様に御承知して下さい念の  
 為め申上ます  
 ●物價下落を報ずる文

●機を報ずる文  
 舊年末に切迫し  
 て少しは景氣附  
 き  
 ①米價安の爲  
 め兎角賣惜み居  
 ましたが  
 ②諸商  
 品の賣行悪く  
 ③舊節季を氣構へ  
 て  
 ④資本缺乏の  
 爲め  
 ●積荷の損害  
 を報ずる文  
 過半は破損して  
 ●海水に浸され  
 用に立ち難く

兼て貴店より御廻りに成てあります何品此項日々  
 に下落致し尚此上にも低落して殆ど低止する所  
 を知らずと申す勢です此様子では只今の處にて  
 もガツと四五百圓は御損失と存じます夫で賣却  
 は一時中止して居りますか如何で御座います  
 至急に御返事下さい  
 ●返 事  
 兼て賣捌方御頼申上ました何品直段非常の下落  
 に付處分方御問合せ下され御手数數で御座いまし  
 た拙者の見込では此下落は當分のことで遠から



到底損失であり  
ます◎只今都合  
中◎半分は使用  
が出来るかど存  
じます

◎注文品變更  
一時見合せます  
から中止して下  
さい◎得意先よ  
り断になりまし  
て◎原料が不用  
になりますれば  
其の損失は償ひ  
ます

◎注文に應じ

す回復する考でありますから一時中止しまして  
時機を見て賣ることになり致します御面倒で御座い  
ます其儘御預り置き下さい尚貴店にも精々時  
機御注意居り下さつて機を失はず賣却を願ひま  
す

◎商業上の決算を報ずる文

拜啓本年は最早餘日も無いことになりまして無  
御多忙で御座いますと察します當支店本年度  
の決算を致しました處が御蔭で去年に比べまし  
て餘程利益が多御座いますので一同は働甲斐の

難を報ず  
近頃輸出を増し  
製造に追はれて  
時々品切になり  
ます◎其中に  
出来ましたら直  
に送ります◎御  
差支の事とは存  
じ申すが此度の  
處は御断り申上  
ます

◎爲替を依頼  
する文

最初の豫算より  
餘計の物を買入

見はたと歡んで居ります別紙計算書御廻し申上  
ますぬら御覽下さい御本店に比較されましては  
逆も御賞に預ることには出来ずまい先此位な  
れば十分として貰はぬはなりませんぬ何れ参店の  
上で御話申上ます

◎物品買入の時機を報ずる文

先達て御相談になりまして生糸買入の儀は昨今  
相場思ひの外廉價でありまして所持人は皆々投  
賣同様の姿でありますから只今が買入には時機  
と存じ申す御同様の御見込ならば早速其手配に

◎直段の相違にて金子不足になり

◎買入の約束は整ひましたけれども此機を失はず

◎添書を依頼する文

今度弊店の何品を賣込に参る筈ですが該地方には初めて参ります◎一向不案内で出張致させまします◎貴店の

取掛たいと存じます取急ぎ御相談申上ますゆら成るべくは電信にて御返事を待ます

◎積荷の損害を報ずる文

去何日西京丸で御送りになりました品物本日到着致しました航海中暴風に遇ひましたとの事で半分餘も破損がありましたので目下談判中でありますから取敢ず御通知申上ます

◎注文品の變更を報ずる文

先般注文いたしました品物は俄に模様が変わりましたので未だ製造に御取掛りでなくば右の分は

御紹介に依り

◎西洋小間物

賣捌依頼文

其後は御無沙汰致しましたが皆様御變りも御座

いませぬか◎外國直取引にて

他方と比較して

下さい◎御厭ひ

はありませぬけれども十分御

便利を計ります◎出京する人

に商品見本の

中止して下さい其代りに何々の品を前分と同じ敷を製造して下さい若し前分最早少したても出来て居ますれば其分丈は買取ます尤も大急ぎで御製造を願ひます

◎注文に應じ難きを報ずる文

毎々御引立に預りまして有難う存じます此度御注文下さいました何品は先日より當店に品切で外方も尋ねましたけれども何方も同じく品切でありますので折角で御座いますので御送り申すことが出来ませぬで悪からず御承知して下さい聞

回送依頼文

新聞の廣告で見致しましたが

◎當市に於ても賣行善からうと思ひますで

賣を試みたいと存じます◎値の高下に關せず

十分直段御引合下さい◎以後引續き販賣致す積りです

◎製茶買入方

依頼の文

ます處が近頃原料が高價で製造元が引合ぬので製造しませぬとの事で御座います

依頼門自分の用向の事を頼むに違す文

◎為替を依頼する文

大急ぎで申上ます拙者此程品物仕入致したいと存じ上段致しました處が目的の品の外に買入れた品がありまして買求め度と思ひますけれども金子が不足で買入出来兼ますから至急に金百圓丈為替で送り下さい委細は歸縣の上申上ます早々

◎添書を依頼する文

拜啓貴店益御繁榮で結構で御座います弊店此度得意廣の爲め北國筋へ手代一人差向たいと存じます貴店は彼地方には御取引先も澤山あります様に承つて居ります其申兼ました事で御座いますすけれども御得意先へ御添書下さいませぬめさすれば大に信用がおりまして早速に得意も廣まる事と存じます先は御依頼まで早々

◎西洋小間物賣捌を依頼する文

拜啓時分柄寒さ中々嚴う御座います皆々様御

製造に注意を加へまして◎四季

頼文

◎引札分配依

御地で十分御買取下され◎人に先んせられ◎手配◎御奔走

◎産額も減る事と存じます◎

◎例年よりもで◎の出が後れ◎一般に氣配宜しく◎

◎本年は春來雨天續で◎兎角不順

◎製茶買入方

共に用ひられま  
す◎夏季の節で  
も味が變ること  
はありませぬ◎  
品の良好にて價  
の廉なる◎實に  
御徳用の品であ  
ります◎世間に  
類似の品があり  
まするから◎病  
後衰弱の人に有  
効です◎他方へ  
は何割引で卸て  
居まするけれど  
も貴店へは特別

機嫌よろしく御慕の事と喜んで居ます私事此度  
西洋小間物店開業致しまして格別に直段も相働  
品物も一層吟味して居ますから今後貴店に於て  
賣捌して下さいますねか尤も御勉強下さいます  
れば貴店へは十分割引致しまするは勿論半季計  
算にも任ります此邊も御承知の上宜しく御願ひ  
申上ます

◎出京する人に商品見本の回送を依頼す  
承りますれば明日東京へ御出發成されまますとの  
事甚だ申上兼ますが東京日本橋區久松町に販賣

本年高等小學科  
を卒業しまして  
◎性質は温順う  
御座います◎元  
から商業が望み  
であります◎商  
業見習の爲め◎  
洋反物商が望み  
の由◎御多用中  
とは存じますが

◎全返事  
私に御世話致す  
様御申越◎御禮  
明の御方なれば  
早速に有ませう

して居ます何品未だ當地へは參つて居ませぬが  
私少し考へがありまして至急入用で御座います  
ので御面倒ですが御着京の上は直に御買入送り  
下さい而して是は見本で御座いますから一見の  
上氣に入りますれば後注文澤山いたしますこと  
を御話下され其節には何程割引致しますか御引  
合下さい御序に御知らせを願ひます

◎製茶買入方を依頼する文  
本年の茶は鐵道運賃率の低減を中央會議所より  
其筋へ建議し其上茶税の賦課法も是迄とは變る

● 小當も有りますから早速聞合せ  
て否や申上ります  
● 商賣は何が御  
望みでありますか  
● 御本人拜見  
致しました上で  
● 留守を頼む  
北海道産物を仕  
込の爲め ● 不安  
心で御座います  
から ● 萬事御心  
添を願ひます ●  
何事も貴君に御  
相談申上る様に

様になるとの事でありますから氣配は引立ちます  
ると存じます其處で先宇治物の上等を一番に買  
取り模様依りて處々の品を買入る事にする積  
りですから貴君御骨折を願ひ度ものです尤も資  
金は拙者が準備して間に合えますから十分運動  
して此際一儲致しませう先は御依頼まで早々  
● 引札分配を依頼する文  
今般弊店で發賣致します何品は其味は頗る甘美  
で世間に類なきもので御座いますことは引札  
に書てある通りで御座います只今見本として一

申聞けて置ました  
● 遠き親類よ  
り近き他人と云  
ふことがありま  
す ● 滞留中商用  
の御用がありま  
すれば御申越下  
さい  
● 代理を頼む  
俄に發熱致し臥  
せつて居ます ●  
據ない事が出来  
まして ● 口を  
得ませぬ事があ  
りますので ● 手

箱進上致しますから多少に依らず御用向仰付け  
て下さい尤も世間には直似寄の品を製造します  
から商標と弊店の名前とに御注意の上御求を願  
ひます若し貴店に御賣捌の思召がありますれば  
直段より何割引で差上ります多分に賣捌る様で御  
座いますれば其節には又々御相談も致しますが  
先只今の所では此邊で願ひます御面倒ながら別  
紙引札御知合の御方へ御配布下さい  
● 丁雜の口入を頼む文  
早速ながら拙者の親類の者で本年十四歳になり

● 依頼門

離れ難き事がありまして

◎全返事

御病氣の由存じませなんだ御容体如何◎御易い御用です◎御意見もありますれば承り度◎議決の模様御報知申上ます

◎保証人を頼む文

今度奉公する積りで當地へ参り

ました小兒小學校は卒業して居ますが親共は商人に致したいと申して相當の商店へ奉公口を頼越して居りますので御迷惑の義にて恐入ますか貴君の御心易先にも御心當がおりまするならば何卒御周旋下さい御頼み申上ます萬事は拙者が引受ますから御安心下さい

◎全返事

御親族の御子様商店へ御奉公なされ度付御周旋致すべく事承知致しました心掛て居まして適當の處がございましたならば早速御世話致します

ました處適當の口がありませぬ

◎保証人さへあらばご申す事で差當り困つて居

ますが◎今一名入用の事◎一名

はありました

が◎當地在住の者にて身元確かなる者

◎廣告文代作

此間概略御咄致しました商業◎新規に商業を開

此頃拙者の親類先にも一名入用の由申して居ました様に聞きましたから一應問合せまして若し入用の事ならば御周旋申上ます先は御返事まで早々

◎留守を頼む文

小生今度商用に付まして北海道へ向ふ三十日間程旅行致し度う御座いますので御承知の通り跡は女子供ばかりで留守を案じられますから御迷惑に存じますが何卒御氣附下さいます様願ひます公用などの事は親類の者へ依頼致して置きます

店致しまして  
 開業以來十周年  
 に當りまするの  
 で愚案で作り  
 ましたけれども  
 ◎十分好評のあ  
 る様に◎多年の  
 工夫を費し◎一  
 週間掲載下さい  
 ◎標題と名前は  
 二號文字  
 ◎預品渡方  
 此間は突然参り  
 まして御邪魔を  
 致しました◎御

したけれども其他の事は何分親類が遠方で御座  
 いますので日々の注意には不便と存じますので貴店  
 へ御依頼申上ます拙者参上御頼み申上まする筈  
 ですが出立前取急ぎますので失敬ながら書面を  
 以て御頼申上ます

◎代理を頼む文

今日は仲間組合の件に付商業會議所へ出席致し  
 まする筈ですが昨日より東京の得意先主人が上  
 阪致され商業上取組たる相談も御座いまして他  
 出が出来ませぬので今日は欠席致しまする事で

目に懸置ました  
 何語御氣に入ま  
 したか◎外方よ  
 り注文を受けま  
 したで其方へ見  
 せ度御座います  
 ◎全返事  
 折角御來車の處  
 ◎拙者も少々都  
 合があります  
 暫く見合せます  
 ◎買戻存じます  
 るけれども資金  
 の都合で今度は  
 見合ます

御座いまするが今日の會議は重要な事柄であり  
 まするから代理を立て度と存じます◎御多忙中  
 申上兼ますけれども貴君代理下さい御頼申上ま  
 す

◎返事

御手紙拜見御差支がありましたして本日商業會議所  
 へ御出席出来難く拙者に代理致す様との事承知  
 致しました不承ながら代理致しますから御安心  
 して下さい何れ散會後模様御報知申上ます

◎保証人を頼む文

◎商標案出  
 従来弊店で賣捌  
 て居まする何品  
 ◎近來頗る好評  
 を得まして◎御  
 蔭で日増に販路  
 も擴まり◎擬造  
 を防ぎ度◎近來  
 非常の好評を得  
 て居ます◎粗造  
 濫製にて弊價を  
 落し◎頓と好案  
 も出ませず◎商  
 標専用を出願致  
 したく

其後は御無沙汰に打過まして申譯が御座いませぬ突然で御座います拙者今度御當地の何町何屋方へ商業見習に住込む事になりましたが御當地に住居の確かなる保証人が入用との事で御座いまするけれども御地には他に依頼すべき人もありませんので當惑して居ます御迷惑の御願ひながら何卒貴店保証して下さいますか折角志を立て上阪致しまして保証人の一点に付志を達せられぬも残念に存じます住込みました上は勉強して決して御迷惑は掛ませぬ先は御頼みで早

◎忘物の送達  
 卒爾ながら◎今  
 朝参上の節◎餘  
 り酌酩致し◎何  
 印の見本忘置た  
 る歎と思ひます  
 ◎御取調を願ひ  
 ます◎若し忘れ  
 居ますれば  
 ◎全返事  
 御歸りの後に心  
 付まして早速持  
 たせて上ります◎  
 誰何のであるか  
 と思ふて居まし

々  
 ◎廣告文代作を頼む文  
 先日御目に懸ました節に一寸御咄申上ました系物類愈閑店する事に決定致しましたに付ては概略新聞に廣告致し度のです御忙しい中に恐入ます何卒御作下さい尤も餘り長文も必要ないど存じますから朝日新聞にて二十行までに要點を御記載下さい其の重なる點は別紙に擧げて置き御目に掛ますから御参考として下さい誠に勝手な事を申ますが明朝まで御頼み申上ま



た◎多分貴君の御品であらうとは存じ乍ら

◎金子借用に付保証人を頼む文

得意先より一時に注文澤山ありまして品買入に金子入用の處◎掛賣代金も集らず◎保証人さへあらばどの事でも何分取急ぐ事とて◎折悪く某

◎預品渡方を頼む文

先日は久々にて御面倒仕忍入ました其節は大雨にて御大切の御傘を借用しまして御蔭で無事に歸宅致しました只今使を以て御返し申上ますから御受取下さい其節御預け申ました商品永々御邪魔になりませんでしたでありませう此使へ御渡し下さい先は御禮旁早々

◎返事

此間は偶に御立寄下さいましたのに何の風情も

君は不在にて他に頼む人もなく◎金子手廻次第返濟致す積りで御座います

◎全返事

何某様で金子御借入になりまするに付保証人入用◎其は好都合で御座いました◎近頃は金融逼迫で何方も御同様で御座います◎早速証書御遣

なして御歸りになり失禮致しました其節は暴風雨で無御困でありましたらうと御噂申しました御預けの品慥に御使へ御渡申しましたから御受取下さい又御寸暇の節は御遊に御越下さい待て居ります

◎商標案出を頼む文

今回弊店で賣出まする何品は此度世の需用者が多からうと存じますで商標を附けたいと思ひまして種々考へて見ましたけれども愚案で頓と好い工夫が出ませぬので誠に御面倒で御座います

し下さい◎後刻  
 参上致します  
 ◎訴訟依頼文  
 兼て弊店とは取  
 引先にて◎近頃  
 不拂となり◎絶  
 て入金致さず◎  
 去月中旬まで延  
 期の儀申入に付  
 其意に任せて居  
 ましたが◎案外  
 の事を申出で◎  
 同店は他に負債  
 も澤山ある様子  
 で◎此儘に日を

が何とか適當の商標御考へ下さい同種類に世間  
 に是迄用ひて居りまするもの取集め御参考に御  
 目にかけます御如才も御座いませぬが成丈新案  
 で珍いのを願ひます  
 ◎忘物の送達を頼む文  
 先刻は参上御邪魔を致しました皆様へ宜しう御  
 傳へ下さい種々の珍しき御話に紛れ思はず長座  
 致しました其節倉卒にも煙草入を取忘ましたや  
 うに思ひますが御手許にありますれば御序の節  
 送り下さい御注文の品は早速調へて居ますから

延して居まして  
 は弊の明ぬ事  
 ◎他より出訴せ  
 られては不利益  
 でありますから

◎買物代金取  
 換を依頼文  
 俄に金子入用の  
 事が出来まして  
 買物資金に不足  
 を生じ◎國元へ  
 申送りては間に  
 合兼ますから◎  
 何卒一時御取換  
 を願度候

御使のありました時に御渡申ます

◎返 事

今朝は御来車下さいましたのに相變ず失禮ばか  
 り致しまして申譯が御座いませぬ御煙草入の事  
 は私方でも只今まで心付きませず御手紙で始め  
 て承知しました様の次第甚だ不注意で御座いま  
 した只今持して上ますから御受取下さい御手紙  
 願ひ置きました品御買入下さいました由此者へ  
 御渡願ひます

◎金子借用に付保証人を頼む文

◎石版印刷

依頼文

新規の商標を用ひ度存じます◎石版レツテルに致し度◎至急に印刷が出来ますか◎別紙雛形の通り◎二三回色摺に致しては如何◎傳言依頼文◎御仕度が出来まして愈御出立と承りました◎

突然御難題の御願ひでありまするが今度直安の代呂物澤山或人の勸で買取の約定致しました處折悪く金子拂底の場合で外方で一時借用の約束を致しました處が保証人が入用でありまするの他差當り頼む人もありません困つて居まするから甚だ恐入まするが貴君保証人に御立ち下さいませぬか決して御迷惑は掛ませぬ尤も本月末に成ましたら賣掛代金も廻りますで来る三十日限りに辨濟しまする積りであります何卒御承知下さいませすれば結構です先は御頼まで早々

未御同道する都合に運びませぬ

◎一足御先へ御出立下さい◎仕度出来次第

◎物品借用

依頼の文

四五日逗留の都合◎用向の閉には日々談話ばかりも出来ず◎若然でもあるならば◎貴君も一番決戦を試みられは如何◎随分

◎返事

御商業の品物御買入に付き金子俄に御入用で一時他方で御借入の御相談が出来まして其の保証人に小生が立ちますると御易い御用で御座います小生で御間に合ひますならば何時でも保証に立ちます御互の事で御座いますから決して御遠慮には及びませぬ証書御持参下さいませ早速調印致します先は御返事まで早々

◎訴訟依頼の文

平日は御無沙汰致して居りまして失敬で御座い

腕前は逆者な人  
である◎横濱の  
商御聞合せに  
は至極好都合で  
ある◎同地での  
屈指の人であり  
ます

◎全返事  
此間から一度御  
尋せうと存じ乍  
ら其意を得ず◎  
持合の碁盤は甚  
だ粗末で◎何日  
なりと緩々御使  
用なさい◎後よ

ます儲突然ながら拙者従来何町何屋と取引して  
居ましたのが近來先方は投機に手を出して再三の  
失敗續きで弊店の支拂なども段々延引になり今  
以て兎や角申して支拂呉ませず聞きまするに破  
産でもしうな模様か御座いますで今の中に出  
訴しまして差押へをしまするが得策であらうと  
存じますで何卒其の手續を願ひます一日猶豫す  
れば其文の損失を被りますから一日も早く着手  
下さい先は御頼みまで早々

◎買物代金取換を依頼する文

り持せて上ります  
◎兼て御高名を  
承つて居た◎定  
めて見の御人  
でありませう◎  
是非一度参つて  
御馴染にならう  
◎兼て御咄に聞  
て居た  
◎轉宅に手傳  
を頼む  
宜しき借家を見  
付ましたので至  
急に轉宅致す事  
に取極めました

此程は毎々参上御面倒致しました早速ながら今  
日某店に参りました處直段の安い品物がありま  
したので買ふ約束を致しましたけれども此間よ  
り澤山買物しまして金子が不足で困り居ります  
の歸縣次第御送金しまするで何卒金百五十圓丈  
暫時御取換下さいませぬか御承知下さいませ  
ば早速証書持参致します先は御頼みまで早々

◎石版印刷依頼の文

貴社御盛大御日出度存じます弊店今度發賣しま  
する麥酒の商標を石版印刷に致し度いと存じま

◎今日中に引移  
度と思ひますの  
で◎丁稚も里歸  
をして居り

◎物品鑑定

依頼の文

道具市にて買求  
ました書畫◎眞  
偽今少し判然し  
ませぬので◎餘  
程古い物には相  
違ないと思ひま  
す◎他に買人も  
ありまする事と  
て別條ないを存

すが来る何日まで三万枚丈印刷御依頼申度御  
都合如何ですか間違なく出未まする様なれば難  
形持参の上注文致します先づ御都合御尋まで早  
々

◎傳言を依頼する文

昨日御咄の如く愈明日は上京なさいますさうな  
拙者も是非御同道申度と存じて居ました俄に商  
用出来ましたので御同道出来兼ます就ては御面  
倒で御座いますか何町何屋へ傳言御依頼申度事  
がおりますで後程参上委細申上ますから宜しう

しまして

◎注文品不足

に付問合

目下支那へ輸出  
すること多くし  
て◎内地にては  
賣行宜しからず  
◎出来合の品は  
ありまするけれ  
ども下等で御使  
用に成り難しと  
存じまして◎其  
内には出来るか  
と存じます

◎雇人の有無

御頼み申上ます早々

◎物品借用依頼の文

昨日横濱の得意先の主人来阪なされ二三日拙宅  
に滞在しられて居るが日々退屈の折もあります  
るので何か面白小説本でも讀たいとの事若貴店  
に新板のものがありまするならば二三種御見計  
で御貸下さい貴君も御寸暇がありまするなら晚  
方からでも御遊に御越しなさい容は商業の事に  
は中々先見のある人で随分利益になる話も出来  
ます君が目的の貿易商の事などは意見も持て居

を問合す文  
今度支店を設け  
ますので此上に  
二三名雇入度  
相當の教育ある  
もの御心常も  
ありまするなら

◎御周旋下さい  
◎仕入先問合  
御地には小問物  
商も澤山ありま  
するが何町何屋  
が一番宜う御座  
います◎善仕入  
先を定めまして

◎貴店の御引合  
を以て取引致し  
度◎何れ上阪之  
飾萬事承ります  
◎何分田舎者相  
手で御座います  
から餘り上等の  
品は適當しませ  
ぬ

られ拙者昨晚来段々聞いて見たが人の意表に出  
る事柄がある兎に角交際して置かれたれば有益  
の人であります

◎返 事

横濱よりの御来客ありますさうな囃御取込であ  
りませう小説本は別に新板の面白ものとしてはな  
けれども近頃春陽堂の出版したもの四五冊持合  
せ居るおらは是を御覽に入れる事にさせう若是  
等の書は早御讀になつて居るなら拙者が友人に  
借りて来て持して上るお客は商業に機敏な人で

◎全返事  
何屋は近來盛大  
に營業して品物  
も廉價の割合に  
は上等の由評判  
致します◎一層

あるとは頼母しい何卒御交際を願ひたいものぢ  
や今晚にても御邪魔に出ますから君御紹介して  
下さい兼て御咄申して居る貿易商の事も同氏の  
意見を叩いて参考にしたいものぢや何れお目に  
懸てと早々

◎轉宅に手傳を頼む文

兼て御咄申して居ました轉宅何町何番地に相當  
の家がありましたので愈明日引移り開業する事  
に致しました處無人で手廻兼ますおら御忙しい  
中恐入ますか下男を二日丈借用いたし度御都合

相働き申どの事  
 御座います  
 御上阪の上御相  
 談申上然るべき  
 家を御周旋致し  
 ます◎此両家に  
 て御仕入になれ  
 ば決して別條は  
 ありませぬ  
 ◎旅行日限  
 彌御出立の由◎  
 御見立申上度存  
 じまして◎商用  
 にて御頼申上事  
 が御座います◎

出来ませれば誠に結構です先は御頼まで早々

◎物品鑑定依頼の文

此頃某店にて古書畫を數種買求ましたが拙者は  
 真物と思ひまするけれども今少し不確に思ひま  
 する處もありまして迷居ますで貴君の御鑒定を  
 頼み度と存じます◎御多用中御苦勞様ながら篤  
 と御鑒定下さいませぬか何分未熟の骨董商で動  
 もすると偽物を握らせられ大に損失を被ること  
 がありまして甚だ懸念で御座いますから宜しく  
 御引立を願ひます

照會門 問合に用ゆる文章なり

◎注文品不足に付出荷を問合せ文

◎專賣品請賣  
 に付問合文  
 未だ尊顔を拜し  
 たことはありま  
 せぬが◎突然で  
 ありませぬが◎  
 厚顔敷次第であ  
 りますが◎御發  
 賣になりまする  
 何品◎其使用上  
 有餘の品と存じ  
 ます◎十分に勉  
 強して賣捌きま  
 す  
 ◎全返事

毎々御注文下さいまして有難う存じます今度御  
 注文下さいました品物の内何品一種只今品切で  
 御座いますして他店をも搜索しましたけれども何  
 方にもありませんませぬ少々下等の品なればあります  
 るが夫では如何で御座いますかと思ひまして  
 見合せて居りますから大急ぎで御返事して下さい  
 い待て居ます

◎雇人の有無を問合せ文

随分便益の品の様に思はれます  
 ◎御蔭で日増に賣行宜しう御座います◎定價より一割位値引を致します◎取敢ず見本として差送ります

◎代品物直引

問合の文

送の品は粗製にて何れも不向で御座います◎代品物御返し申

弊店今度商業擴張致しまする都合で雇人二三名増員がしたいので御座います相當の者がありませんならばお世話下さい年齢は二十歳前後の者で當市内住居の者なれば宜う御座います給料は本人の腕次第で如何様とも相談致します何れにしても至急に御頼み申上ます

◎仕入先問合の文

其後は御無沙汰に打過ましたか御一統御變りもなく御暮しをさいますか突然の事で御座います拙者此度小間物商賣を始めたいのであります

します◎運賃にも失費が掛ります◎到底當地にては賣行覺束なき見込です◎少し考へも有まするから

◎全返事

當今は代價を安値に仕入まするので自然と粗製になります◎此上は六ヶ敷◎手問賃にも足らぬ事故◎此度の分

◎全返事

當方より社久々打絶て居まして申譯が御座いますせぬ今度小間物商御開店なさいますさうでお目出たう存じます當地にて御仕入先のこと御尋になりましたか何町何屋が近頃盛大で品物もよろしく直段も外方とは餘程廉價の様評判致します



は何卒御辛抱し  
て下さい

◎商品需要の  
如何問合

弊店で販賣の品  
◎只今は物産織  
も澤山あります  
る中に◎該品は  
最も優等の位に  
居ます◎相應に  
賣捌る積です◎  
依て見品二三種  
差送り御問合せ  
申上ます◎代價  
も割合に廉價の

先方は新店でありますから何でも評判を取らう  
とて總ての事に注意致して居ますから篤實なと  
とは申すまでもなく同店で御取引なされれば決し  
て別條は御座いませぬ御上阪の節お目に懸りて  
御相談申上ます

◎旅行日限問合の文

此間御話になりました商品御仕入に東京表へ御  
出發よりありまするは愈何日頃と御定めになりま  
したか少々御頼み申上度い事が御座いますので  
御出立の日限がお極になりましたならば一寸御

積です

◎全返事

貴店御販賣の何  
品見本として送  
り下され◎随分  
爲の宜しきもの  
と思はれます◎  
以後は専ら貴店  
の品を賣捌く事  
に致します◎特  
約販賣の事に御  
相談を願ひます  
◎歸店の日限  
其後は御無事で  
御用向御整ひな

聞かせ下さい御頼み申上ます

◎專賣品請賣に付問合の文

未だお目に懸りました事は御座いませぬが貴店  
益御繁昌の御事お目出度存じます今般貴店に專  
賣特許を受けられました何品は當地では賣行宜  
しき見込がありますから當地へ御送り私方にて  
賣捌かせ下さることは出来ませぬか御承知なら  
ば精々勉強して賣捌きます何れとも至急御返事  
して下さい待て居ます

◎全返事

され◎御留守宅にも皆々様御無事で御留守して居られまするか  
 ◎製造品の日限問合の文  
 来る何日の宴會に入用の品で◎開店式に入用で  
 ◎其のありませす◎其の當日文に用ひまする品で◎期日を誤られては困り入ます

初めて御手紙拜見いたしました御尋の何品は御蔭で何れにても評判宜しく思ひの外の幸福で御座います貴店で賣捌下さいますれば精々直段は働いて差上ますか最初は何方へも二割引として御約定して居ます追々多分に賣捌まするに随ひ割引も増して願ひます先は御返事まで早々

◎代呂物直引問合の文  
 此間御廻になりました何品は品が下等で御座いますから捌口が宜しくありませぬので是迄の直段では逆も賣れ兼まするから一個にて五錢程づ

◎計算誤謬を問合す文

無事で本日着致しました◎早速取調しました◎品物と引合せ致しましたけれども  
 ◎若間違でありませれば直引の上送金致します◎當方の違算かも知れませぬが一應御取調の上至急に御返事して下さい

直引して下さいませるか若し直引が出来ませぬならば已むを得ず代呂物お返し致します夫では差引御損かも知れませぬ如何致しませう早速何とも御返事して下さい

◎全返事

先日積送りました代呂物粗末で直引致せよとの事でありませぬが當方にも粗造の事は承知で前以て直引して差上て居りますのでありますから此上は辛う御座います故代金は何月切の事にしまして右直段で御辛抱願ひます何分原料が高價で

◎全返事

此間送りました  
 ◎仰の通り全く  
 誤りで◎店の者  
 の失錯で御座い  
 ました◎以後は  
 不都合なき様に  
 注意致さします  
 ◎他店へ送る品  
 物と間違へて送  
 りましたのであ  
 ります◎悪から  
 ず御承知して下  
 さい  
 荷◎物の着否

御座いますので聊の利益で差上て居ます其邊篤  
 御推量下さいます御買取を願ひます

◎商品需要の如何を問合せ文

貴店益御盛大喜ばしう存じます皆今般當地物産  
 織少々見本に差上ますから御覽下さい近頃好評  
 を得まして日増に販路も擴り物産織では先第一  
 等を占めて居ます御座いますぬら御地に  
 ても此度好評を得ますと存じます尤も御賣捌き  
 下さいますれば代償より何割は引まして差上ま  
 すから御盡力願ひます取敢ず見本を添て御尋申

上をす早々

◎全返事

最早到着の事と  
 存じます◎着の  
 上は御改め◎到  
 着の上品不足が  
 あり申すれば◎  
 尙一層勉強致し  
 ます  
 ◎全返事  
 注文致しました  
 品物御取揃◎本  
 日無事到着◎悉  
 皆相揃ひ◎早速  
 御通知申置きし  
 に◎二三種不足  
 にて取調中

御地の物産織見本送り下されまして拜見致しま  
 した◎成程良き品の様に存じますで定めて當地  
 でも向口宜しくと思ひますから跡何十反丈至急  
 送つて下さい精々勉強して賣捌き申します割引  
 の事も委細承知しました其位の處が相當である  
 ぬと存じます御返事まで早々  
 ◎飯店の日限を問合せ文  
 貴君出發後は萬事好都合で總て御取引向は意の

◎物品渡方問

合の文

御使が参られ

何某と申され反

物注文御持歸り

になり◎少々疑

はしき廉があり

まして◎不審に

存じまして

◎出来品の有

無問合の文

至急入用であり

ますので◎兼て

御仕入の品も御

座いまするか◎

如く運び居る由結構です最早一ヶ月にもなりま  
すから用事は大抵片付たる事と存じます凡何日  
頃歸店なさる豫定でありますか都合もありません  
めらお知らせ下さい

◎製造品の日限を問合す文

先日詔へ置きました何品の製造は如何の都合で  
ありまするか御承知の通り来る何日に入用の品で  
其日限を過ぎましたら不用のものでありますめら  
日限に間に合ませぬ様ではお断申さねばなりま  
せぬ此等の事は御承知であらうとは存じますすけ

餘分に注文致度

◎澤山一時に注

文すれば代價は

何程割引して下

さいますか

◎全返事

出来合の品は只

今ありませぬが

◎割安の品が御

座いますか如何

◎外方の注文に

依り仕入ました

品があります◎

原料が高價で仕

入を中止して居

れども念の爲め申上ます御面倒ながら一寸御返  
事して下さい先は御問合まで早々

◎計算誤謬を認めて問合す文

今回注文致しました織物本日着港正に受取ま  
した御安心して下さい併し目録計算書に少々相  
違の廉があります様に考へます其は毛斯倫一尺  
に付二十錢の割合にて前に送り下されました品  
が今回は二十三錢の直段に認めてあります若し  
や品物が上等になるかと取調ましたけれども夫  
張同様の品であると思ひます如何の次第で御

ます由

◎相場問合

目下の處は品拂  
底で◎支那向が  
主になりまして  
◎昨日の入津に  
依り氣配を持直  
し◎實地取組直  
段とも更に變り  
はありませぬ

◎出品手續

今回の博覽會に  
は何方も大抵出  
品する様であり  
ます◎況して當

座いますか若しや御勘定違ひでないかと存しま  
すから一應御尋申上ます

◎全返事

今回御注文に依り送りました反物の計算書に相  
違がある様に申越されまして早速帳簿を調ま  
した處成程全く當方の違算でありまして仰の通り  
二十錢の品でありますから其お積にて御送金下  
さい甚だ粗漏の段恐入りました何卒惡からず御承  
知を願ひます

◎荷物の着否問合の文

先日御注文になりました何品早速横濱丸に積込  
送りました事は其節御通知して置きましたか定  
めて御受取になつてあるとは存じますが今に着  
荷の御通知がありませぬから念の爲め一寸御問  
合申上ます

◎返事

御尋の荷物海上にて何か故障が出来たる様子で  
漸く昨日着港しましたから取敢ず御通知申上ま  
したか行違で御尋になりました御手数を掛まし  
た併し着荷致しましたので先以て安心しました貴

地に住居の者は  
奮ふて出品せぬ  
ばなりませぬ

◎貸家の有無

問合の文

只今の店では商  
買上に不便であ  
りますので◎分  
店を設け度と存  
じまして◎若し  
恰好の處があり  
ましたならば◎  
適當の場所◎二  
階立の家  
◎製品の都合

得意先よりの注文を受け別段

上等の仕入にして

◎代價は何程

位で出来ますか

◎出来合の品は

有まするけれど

◎注文品に付

問合

御催促申上たる

に未だ御返事も

なく如何◎今二

三日位は待て居

ますが◎得意先

店にても御安心して下さい

◎物品渡方問合の文

只今貴店の御使ぢやと申して未だ一面議もな

二十歳位の男子が参られ白縮緬一匹縹子帯地一

巻渡して呉どの事でありまするけれど如何と存

じ兎に角一應お尋申上てからとて其儘御返し申

上まして念の爲め御問合せ申上ます

◎出来合品の有無を問合す文

取急ぎ御尋申上ます至急何品買求めたいのであ

りまするが貴店には御出来合の分只今何程御持合

より度々督促を

受け◎若し間に

合ませぬ様なら

ば其由先方へ通

知致し

◎頼み置きし

事を問合す

兼て御頼申置ま

した一件は如何

で御座いますか

◎催促ケ間敷申

上恐入申すが◎

貴君の御骨折な

らば多分出来る

とは存じますが

せなされまますか又其の代價は何程で御賣下さ

まする御聞かせ下さい

◎返 事

何品持合は只今の處では何程でありまするけれ

ども最早其内何程は外方へ約定して居ますから

残の分文ならば何時でも御注文に應じます併し

只今製造中でありますから二三日御待下さらば

澤山出来まます代價は近頃原料の高價であります

から春頃とは二割方騰貴て居りまするけれども

澤山御注文下さいますならば何程に致して置ま

日々待て居ますので成否の程を承知致度

◎全返事

右一件は當方にも待て居ます  
◎今日迄には何とか返事も有る筈  
◎先方も何か都合のある事  
でせう◎定めて御待兼とは存じまして

◎團扇注文

追々暑さになり

す

◎相場問合の返事

何品の相場御問合の處只今は津山品があるので少々下向にて大抵一個に付何程の相場であります何程御入用でありますか弊店にも少々持合の御座いますから御都合で精々働きまして差上ます今の機會であります存荷の捌ますると又々高價になることは見えて居ります

◎出品手續問合の文

皆々様御機嫌宜しう御座いますか突然ながら第

ましたので團扇店を開き度◎本年は少し模様を換て◎形も少し大きく丸形に

◎全返事

早速調進致します◎昨年とは少々總て直段が高價になります◎別段働きまして何程は掛ります

◎注文品の日

限變更の文

五回博覽會には我國各地方から競ふて出品致しますることとあります其拙者も何品出品致したいと存じます其手續は如何致して宜う御座いますか不案内でありますから御教示して下さい  
さし御頼申上ます

◎貸家の有無問合の文

弊店今度商業を擴張致し度付今少し廣き間取の家を轉宅致したいと存じます貴君若し借家の御心當は御座いませぬか場所は南區の中央をれば結構であります家賃は凡そ何圓位までにて

俄に都合が變りまして●開業の日を繰越まして

●鐵道便で御送下さい●通運會社へ御差出では到着が後れます

●右日限には是非共品物引渡の約束であります●料理を注文する文

開業式の振舞に●客來は二十人の見込です●普

自然御見當もありましたならば御知らせを願ひます

●製品の都合問合せの文

早速ながら至急何品何個入用でありますか来る何日頃までに貴家にて御調製下さいますか若し御差支ならば外方へ頼みまするけれども相成るべくは貴家で御頼申したのであります御都合如何で御座います此者へ御返事して下さい

●注文品に付問合せの文

先日注文致しました何品本日迄に御送り下さる

通の料理で宜しく●外に酒肴三井に吸物取肴等●總て暖い物が結構ぢや

●賣掛金催促品物と引換に代金御送り下さる筈の處●如何なる御都合にや●御催促ケ間敷申

上では濟ませぬが●外様とは違ひ成丈御待申上て居ます●定め

約定でありまするに未だ何等の事もなく得意先へは日限を誤りては大に將來の信用に關係しまする事なれば誠に困却致します如何の御都合で御座いますか大至急何分の御返事して下さい得意先へ申送る都合もありませんから御推察して下さい

●頼み置きし事を問合せの文

先夜は突然参まして大に御面倒仕りました其節御頼み申置ました品物直段御引合の儀は如何で御座います御忙い中へ世話敷申上ますのは恐



て御都合の有事  
とは存ますが

●全返事

近頃不如意にて  
●實は外方より  
廻金が手達まし  
て●品物が不揃  
で●案外の始末  
で何共申譯が御  
座いませぬ●其  
中には調金出来  
まする都合で御  
座います●入金  
次第直に支拂申  
ます

入ます都合もありませんので模様を承りたく存  
じます時日は後れましても出来ませぬ様ならば  
苦しく御座いませぬ一寸様子丈御聞かせ下さい

●同 返事

先夜は御越下さいまして何のお愛想もなく失禮  
致しました其節御頼の事は早速先方へ依頼致し  
て置きまして未だ何等の返事もありません  
で今一度催促致して見ませうと存じて居ます  
處で御座いますから早速尋ねまして御返事申  
上ます大に延引になりまして御氣の毒様で御座

●來車を催促  
商品の件に付篤

と御相談が申度

●直に御出を願

ひ置ましたのに

●機會を失ふて

は御互に損失少

なからぬ事●此

邊御察しの上●

若貴君が御差支

あらば拙者より

参ります

●全返信

御尤の次第何共

濟ませぬ●兼て

いませぬ何れお目に懸りまして委細申上ます

●注文文門

●團扇を注文する文

来る何日より例年の通り夏期賣出し致したう御  
座いますから右日限までに本店名入の團扇昨年  
の形にて一万本御調製下さい代價は如何程で出  
来ますか都合もありませんから一寸御知らせ下さ

●返 事

毎々御引立下されて有難う存じます御注文の品

心に懸ながら圖  
らず延引致しま  
した◎只今より  
参りますから御  
待受下さい

●揮毫催促  
看板が出来ませぬと開業の都合が悪う御座います◎是非御繰合せ下さい御認めを願ひます◎他の準備は總て出来て居まするに唯看板だけで開

日限までに間違なく調進致します代價の儀は昨年とは一本に付て五厘方高價になりますら御承知して下さい何れ品物出来の上持参の節御話し申上ます御返事迄早々

◎注文品の日限を変更する文

昨日手紙で申上ました注文品来る何日に入用の積でありました俄に摸様が變り何日に入用の事になりましたので来る何日迄に間違なく御送り下さる様に頼みます若し右の日限に間に合ひませぬ様ならば貴家より他方へ御廻しなされて

業が出来ませぬ  
◎証書の書換  
兼て御取換申置ました御都合にて今暫く御使用の趣◎期限が経過しますから◎御心易い中で斯様に申すは如何と存じまするけれど

◎訓品と相違  
する見本を  
送る文  
御申越の品とは

でも是非間に合せ下さい尤も代價は少々高價になりまして辛抱いたします一寸此事御通知まで早々

◎料理を注文する文

明日は開店の祝ひ致す積りでありましてから別紙献立の料理二十人前午後一時頃迄に調へ下さい客は正午の案内致して置きたれども大阪時間で一時頃に揃ふ様になりますら餘り早過ると御馳走が冷て下可ませぬ

督促門 物事の延引するを催促する時の文

◎督促門

餘程違ひまする  
 けれども茲四  
 五日は荷が廻り  
 ませぬ少々品  
 が下等になりま  
 するけれども  
 是では御辛抱は  
 出来ませぬか  
 ◎手附金を送  
 る文  
 買取の約定致し  
 ました物品の手  
 附金に御受  
 取下さい受取  
 書此者へ御渡し

◎賣掛代金催促の文  
 先般御注文に依り差上置きました何品代金著荷  
 次第送り下さる約定でありましたか今に御送金  
 もなく何等の御申越もありませんか如何の御都  
 合でありますか私方にも現金取引として直段も  
 十分働いて居りますことゆゑ斯様に延引しては  
 誠に困入ます御催促申上まするは失禮に存しま  
 すけれども已むを得ませぬ事情御推察して下さ  
 り

◎返書

下さい残額は  
 現品受取節に悉  
 皆支拂です  
 ◎旅行先より  
 取引の模様  
 を報ず  
 早速某商店へ相  
 談致しましたが  
 ◎出立の節申上  
 たるは大に相  
 違致し物品の  
 取引も大に便利  
 で差當り某品  
 買入之儀も好都  
 合で◎上等の品

御手紙拜見しました品物代金早速送りまする筈  
 でありまするが近來不景氣にて得意先の集金も  
 捗々しく集らず其他種々事情がありまして大に  
 延引になり何共申譯なき次第ですが惡からず御  
 承知して下さい斯様の都合で御座いますから御  
 氣の毒様ですが只今半額丈送りますで殘金の處  
 は来る何日迄御待下さい右日限には相違なく送  
 金致します先は御返事迄早々  
 ◎來車を催促する文  
 兼て御相談申上ました品物買入の件に付早速御

意外の廉價にて  
手に入り◎持參  
金の外に尙不足  
を生じ◎別に餘  
計に仕入度◎却  
て利益の様考へ  
られます

◎出版の書籍  
を見本に送

る  
表紙の意匠等も  
新規の考へ◎著  
者は有名なる學  
士にして著述に  
熟練せられたる

来車下さるかど存じ日々待て居まするに今に御  
出下されず御忙しい中で御閑もありませぬこと  
、は存じまするけれども御承知の通大急ぎの事  
件で一日も早く御相談を遂て置かねば不利益な  
れば御繰合早々御光来下さい待て居ます

◎返 信

兼て御相談願置ました事件に付早速参る筈であ  
りまするが二三日来據ない事がありまして手離  
出来ませぬので不都合と存じながら遂延引にな  
りました最早大方片付ましたので出掛様と存じ

人にして坊間  
ある所の書と同  
日の論にあらず

◎全返事

新版の書見本到  
着◎同種類の書  
數多ある中に◎  
著者が腦髓を費  
やされたる書と  
存じます◎從來  
人に知られたる  
學士にして◎充  
分賣捌申します  
◎注文の差直  
と相場の相違

て居ました處で御座いますから直に後程伺ひま  
す先は御返事迄早々

◎揮毫催促の文

拜啓先達て願ひ置ました看板の御揮毫は未だ出  
来ませぬか開業の期日は明日で御座いますので  
本日中に掲げたく存じますから先生も御忙しい  
中で勝手申上げて恐入りまするが何卒御繰合せ下さ  
まして今日中に御認めを願ひます

◎証書の書換を促す文

此間御目に懸りました節に兼て御用立申上まし

毎々御愛顧を蒙り  
 ◎近來好景氣  
 下爲替相場の變動の爲めにや  
 ◎當分此儘持合の姿と存じます  
 ◎容易に下落の見込なし  
 ◎何れ其内に景氣も挽回します

◎全返事  
 御郵書拜見しました  
 ◎委細承知致しました  
 ◎當方も己を得ませ

た金の御返濟日限御商業の御都合で延期の事御話になりまして承知致し証書御書換下さる様申上置ましたけれども其儘になつて居ります何卒至急に御書換下さいます様願ひます御心易い中で失禮でありますが悪からず御承知して下さい右申上度まで早々

**送達門** 物品を送り又は用向を申送る時の文

◎詔品と相違する見本を送る文

拜啓益御機嫌よろしく御暮し成さいますして喜ばしう存じます先日御注文下さいました品の内何

ぬので直段に拘りませぬ  
 ◎九品柄は少々下等になりましても宜しい

◎宴會入費の割前を申送  
 歡迎會費用  
 ◎別紙の如く計算書同附致しましたので  
 ◎支出の筈  
 ◎夫々集金支拂致す様に致度  
 ◎幹事より取纏め  
 ◎注文受たる

品は只今品切で私方にはありませぬので仲間内も處々尋ましたけれども何處にもありません近日に着荷あると待て居まする様な次第です其で御注文の品とは少々相違しまするけれども有合の品御覽に入ります若此品で御間に合まするならば直段は一割方廉價に差上ります先は御尋旁草々

◎手附金を送る文

昨日御約定申しました物品の手附金二百圓只今使に持せて上りますから御受取下さい殘金は右の物品受取の節引替に御渡申上ります若し約定の期

品を断る文  
毎々御引立に預り  
御注文に應ずべく筈なれど

◎代價の高低に拘はらず  
残念の事でありませ

◎調進の程覺束なし  
其節には早速御報知申上ます

◎約束を断る  
本日據なく商業上の都合  
拙者直接に出京致す

事になりまして是非出發致す  
事に取定め  
失禮でありませる  
ければ

◎品物賣捌を断る文  
近頃諸方より賣込ますので品は何時も澤山ありませす  
◎使用上不便の由にて  
只今は需用者も大に減ました  
◎少々は賣ます

日に代價金額の滞まされたならば此の手附金は流れと覺悟致して居ます

◎旅行先より取引の模様を報して送金を申送る文

時分柄寒さ嚴う御座います  
皆々様御變もありませぬ  
か私事着京後無事に得意廻致して居ます  
取引は何方も好都合で少しの殘金もなく支拂をして呉ますので大に喜んで居ます  
仕入の品も思ひの外低價の物が手に入りまして好都合で御座います  
ので少餘分に買入度存じます  
夫で處々の

得意で收金致しました分  
で買入れる事にします  
ると凡三百圓程不足であります  
から此書狀着次第に爲替で送金して下さ  
い歸阪は来る何日頃の見込で御座います  
ずで其日限迄に御用が  
ありますならば御申越し  
下さ  
い先は御知らせ  
旁早々

◎出版の書籍を見本に送る文

今般弊店に出版しました  
言文一致の商業作文書は是迄に他店に發兌して  
居るものとは著者の骨折と書籍の体裁等比類なき  
良書でありますから十部見本として差送ります  
ず定價は五十錢であります

◎得意先の周旋を謝す

御一統様御變り

もありませぬか

◎結構なる得意

先御引合せ下さ

いまして◎何卒

相變らず◎將來

厚く信用を得ま

して◎御面會の

節は◎御禮と申

譯ではありませ

ぬが◎宜しく御

取成の程を願ひ

ます

まするけれども何割引にて差上ます何卒御盡力を以て御賣捌を願ひます

◎全返事

今般御出版になりました商業言文一致の書見本として十部送り下さいまして慥に受取ました拜見致しました處表紙の模様御意匠と申し文章も中々能く出来てある様に覺は拙者等の考へでも坊間にあるものとは格別のものと見受けまます定めて此書出て市中の紙價が騰貴と云ふ書でありませう精々勉強して賣捌ますぬら三百部早速

御送り下さい其節看板も御添置願ひます

◎注文の差直と相場の相違するを申送る

文

毎々御引立に預りまして有難き仕合に存じます此度御注文の何品近頃追々上氣配で昨今の相場は中等の品でも昨年の上等の品と同額で而して中々手離させぬ此様子では當分の内は決して下落の見込はありませぬ如何致しませう御念の爲め御尋申上ます御意見至急御申越下さい

◎全返事

◎全返事  
取引先御紹介申  
上ました處◎甚  
だ痛入ます◎貴  
店の篤實なる故  
であります◎先  
方より取引を望  
まれて居られま  
した◎拙者の尽  
力に依る譯では  
ありませぬ◎双  
方の信用上出来  
たる次第であり  
ます◎結清の品  
頂き恐入ます

◎仕入先へ紹介を受けたる禮状

昨日無事歸郷致しました◎代呂物は至て宜しく◎誠に御蔭様で都合よく参りました◎是迄の仕入先とは總て大なる相違で◎何分田舎の事で御座いますから◎滞在せし家に謝す文

御手紙拜見いたしました先日注文致しました品物近頃非常に相場が騰貴まして當分は下落の御見込なき由御知らせ下さいまして御手数を掛ました當方には只今品切で得意先の注文にも應ずることゝ出来ませぬから高價でも致し方がありませぬゆゑ兎に角至急送り下さい御頼み申上ます

◎宴會入費の割前を申送る文

去る何日中島ホテルに於て催しました宴會費用は合計金何圓にて別紙の通り同館より計算書持

上京の節は長々御厄介を掛まして又種々御慮を煩はしました◎全く貴君御盡力下された御蔭と存じます

◎全返事

先恙なく御歸宅成さいまして安堵致しました◎御逗留中は御無禮致しました◎御咄の件は如何夫に付まして少

參致しましたで一人に付何圓宛になりませうから此者へ割前金御渡し下さい拙者より取纏め支拂致します委細は御目に懸りまして御話致します

謝絶門先方より申来る事に應ずる文なり

◎注文受けたる品を断る文

今回御注文の何品此頃製造元非常に忙しい様子でありますゆゑ御申越の期限には逆も出来ませぬと存じます誠に御氣の毒ながら餘義なく御断り申上ます若し期限が延びましても御構ひなく出来次第送り申します代價の事は矢張前と同



考へもありませんから御一統様へ宜しく御模様分り次第御通知下さい

◎旅行先より

紹介の勞に

謝す

種々御懇情を蒙りまして御安心して下さい◎仕入向にも誠に好都合で意外の仕合で御座いました

直であらうと存じますが御報知致します

◎約束を断る文

兼て御約束申して置ました件に付本日某樓へ參會致す筈であります昨夜から俄に風邪で卧せつて居りますので残念ながら缺席致しますから萬事宜敷御取計ひ下さい御頼み申上ます

◎品物賣捌を断る文

今回見本御廻しになりました何品は只今は府下にては舶来品の安價のものが澤山ありまして和

◎何れも親切なる取扱に預りまして

◎紛議仲裁の

勞を謝す文

一場の紛議を生じ終に訴訟沙汰にも及ぶ折柄◎貴殿の御耳に入り◎種々御配慮に預り◎双方の間に立ち◎調停の勞を執られ◎事穏和に局を結び◎容易に終局

製は何方へも向き悪敷と存じますから當市にては逆も賣捌は六ヶ敷う御座います夫とも非常に低價ならば又賣口もあるかと思ひますけれども御指直では先御断申上ます右の次第に付御出荷は御見合下さい

謝禮門人の世話になりし時の禮状なり

◎得意先周旋を謝する文

拜啓時候は追々暖になりました皆々様何の御障もなく御暮しなされましてお目出度存じます諸先日は長崎地方の得意先を御周旋下さいまして

を見るに至りて  
僣倖で御座いま  
した◎全く貴君  
の御名望に依る  
事と存じます

◎祭禮に人を  
招く文

明日より常鎮守  
の祭禮にて◎本  
年は色々催しも  
のがあります  
別して賑かた御  
座います◎何の  
設もありませぬ  
けれども御一同

あり難う存じます御蔭で澤山の御注文がありま  
して喜んで居ります今後は一層の勉強致し末永  
く御負担に預り度いと存じて居ます貴店よりも  
御序の節宜しく御禮申して下さい其節御頼を受  
けました同地の煙草買求めまして送りませぬから  
御受取下さい何れ其内參上御禮申上ます

◎返 事

先日長崎地方にて御得意先御周旋致しましたに  
付て御丁寧に御禮に預りまして却て耻入ます是  
は全く貴店の信用がありました出来た譯で弊店

御出下さい◎御  
子供衆は今晚か  
ら御趣し下さい

◎壽筵に人を  
招く

愚父事歳暦の年  
を重ね◎子孫打  
寄心祝致し度◎  
賀の筵を開きま  
す◎格別に喜び  
ます

◎返事

御孝子の御歡び  
應と存じます◎  
人間第一の幸福

の御引合せばかりに依つたものではありませぬ此  
度御取引になりました店は皆何方も手堅い店で  
ありますれば追々御盛大に御取引なされたなら  
ば貴店の御利益で御座います弊店よりも宜しく  
申して置きます煙草の事御手数で御座いました  
態々御持せ下さいますして恐入ます慥に受取ま  
した

◎仕入先へ紹介を受けたる禮状

此度は大阪の何屋へ御引合せ下さいますして有難  
う存じます成程仰の通り同店は品物も精良で代

是に過たるはありませぬ。御壯健で結構で御座います。

●開業祝に人を招く

開店の心祝致します。●御馳走では御座いませぬ。●聯心ばかりの内祝ひ。●御家内皆々様。御一同様。御案内申上ります。

●全返事

價も外店とは二割方も廉價で御座いまして御蔭で大に仕合を得ました。何分新に開業の事で御座います。仕入先の確實なるを得ます。第一であります。今より當地方の信用を得まして日増に盛大になることを喜んで居ます。何れお目に懸り御禮申上ります。けれども一寸書面で御禮迄草々

●滞在せし家に謝する文

先達て上京中は一方あらぬ御世話になりました。有難う存じます。御蔭で萬事都合よく運びまして仕合を得ました。早速御禮申上る筈でありました。

●全 返事  
御手紙拜見先御道中御無事に御歸縣なされまして喜びます。御滞在中は誠に不都合の事はかりに御無自由と存じて今に氣に懸りて居りました。に御禮状を下さいます。却て痛入ます御奔走の件は御歸宅の上早速御取掛になります。事と存じます。尚右の件に付御用も御座います。ならば御遠慮なく御申越下さいます。及すなから成丈の盡力

愈御開業なされまして御目出度存じます。●時勢に適する御商業といひ殊に場所柄の事とて日に増し御盛大の御事と存じます。●全快祝に人を招く。拙者長々病氣の處御蔭で全癒致し。●御親切に御尋ね下されまして殊に結構の品

御見舞に頂きま  
して床離を致  
しました

●佛事に人を  
招く

聊供養致します  
から御湯清差  
上やす御多用  
中御迷惑と存じ  
ますが御佛参  
待上です

●送別會を催  
す文  
貿易上實況祝察  
の爲め愈出

致します先は御返事迄草々

◎旅行先より紹介の勞に謝する文

出立の際は種々御厚情を蒙りまして有難う存じ  
ます着阪後早速御添書を以て先方へ参りました  
處が丁重の御取扱ひに預りまして御依頼の件も  
直に承諾して下さいまして万事好都合で御座い  
ます遠からず此度希望の事も遂られる事と存じ  
喜んで居ます全く御紹介の御蔭であります先は  
御報知まで何れ歸郷の上厚う御禮申上ます

◎紛議中裁の勞を謝する文

發なされまする  
由我等仲間の  
者の爲めに來  
る何日神戸出帆  
の由送別の祝  
宴を開き暫く  
御別申す同氏  
の御苦勞を謝し  
●懇親會を催  
す  
●秋季懇親會を  
催し●餘興を設  
け●追て當日御  
席の有無御通知

貴店益御繁榮に渡らせられまして結構で御座い  
ます先般來弊店が某商店との間に紛議を生じま  
して已に法廷に持出して是非曲直を争はんとま  
で決心致して居ました處を貴店の御仲裁で無事  
に解け思ひの外都合よく事済になりました全く  
貴店の御骨折に依る事と喜んで居ます早速参上  
御挨拶申上る筈でありましたが彼是と取紛れ御  
無沙汰申譯が御座いませぬ此品は御禮と申譯で  
はありませぬが御目に懸ます何れ不日参りまし  
て萬々御禮申上ます早々

### 招請門

#### ◎祭禮に人を招く文

明日より當市天神祭にて本年は御遷宮と兼ての祭典でありますから中々賑ひますで御子達お連なさいまして今日の宵宮より御出下さい別に御構は申しませぬ外に客としては一二軒親類の者か参るばかりで御心易き人でありますから緩々と御見物下さい待て居ます先は御案内まで

#### ◎壽筵に人を招く文

拜啓私方の父本年は古稀の齡を迎へまして健全

して下さい◎會費は當日御持参◎開會は午前何時◎成可く多人數相集り◎今より毎年秋季に催す様に致して◎成るべく盛會なることを望みます◎商業談話會◎追々夜長にもなりまして◎例に依り談話會を催しては如何◎先

で居ますので聊心祝ひ致しますから何の御馳走も御座いませぬけれども御繰合にて明日午後三時頃より御来車下さい待上ます

#### ◎返事

御父上様今年古稀の御齡になられまして御祝をなされまますさうで誠にお目出度う存じます付ては私までも御招き下さいまして有難う存じます必ず参りまして御健なお顔を拜み鶴龜の御祝ひ申上ます

#### ◎開業祝に人を招く文

拙宅に於て第一回を催し◎商業を營む者は第一に會得せねばなりませぬ◎明晩打合せを致し◎今日の急務と信じます◎實業界の第一と存じます◎寸暇を偷みます◎世界の實況は承知致さず◎商人として將來の心得とも相成◎諸君の卓見を承

度◎智識交換會  
 ◎外人に悔を受  
 け◎外人と利を  
 争ふの今日  
 ◎全返事  
 外人に龍斷せら  
 れ◎小利に汲々  
 として◎眼前の  
 小利に迷ふて大  
 利を得ることを  
 知らざるの徒の  
 爲す事でありま  
 す◎井中の蛙◎  
 先見の無き吾々  
 到底大利を得る

兼て御咄申して居りました商業愈開店致す事に  
 なりましたので今日は聊祝の心持で粗酒壹献差  
 上度存じます御多忙中却て御迷惑でありませう  
 と存じますが午後二時頃より御出下さい外に客  
 と申す程の人はありません唯例のワイ／＼連中  
 ばかり二三人来る筈であります

◎返事

春以来御計畫でありました御商業早諸事御調以  
 御開業の日とありましたか貴君の御腕前は毎例  
 あつら驚き入ります定めて御盛大の御開業我々を

ことは出来ませぬ◎一日も早く開き度

◎直下相談會  
 一般の景氣も換  
 回して◎經濟の  
 許さぬ處◎諸色  
 も追々下落の勢  
 に傾き◎尙依然  
 として前値を守  
 るは營業上に取  
 て不利なりと存  
 じます◎比較上  
 直下するに取極  
 め度

して目を驚かせ給ふ事と今より早感服致します  
 此御目出度に参らぬなど失禮な事は出来ませぬ  
 から何を打捨置ても参上御祝ひ申上ます

◎全快祝に人を招く文

拙者病中は御親切に度々御尋下さいまして有難  
 う存じます御蔭で此頃全快致しまして誠に皆様  
 の御蔭と喜んで居ます今日は内祝の印致し度  
 存じますから御繰合せ御入せ下さい

◎佛事に人を招く文

明日は亡父の三週忌に當りますので法事を営み

●全返事  
商機は經濟の變動に依りて定めねばなりませぬ  
●商況不振の爲め●仲間一統へ回文して賛同を得度●拙者に於ては異存なければ宜しく御取計ひ下さい●時勢を知らぬ者たる笑を招く  
●製造品に付て忠告

申度存じますら御遠方の處御苦勞様ながら御一同午前十時より御入来下さい候て居ます先は御案内まで早々

催設門 事を行ふに付て人に同意賛成を求むる文

◎送別會を催す文

御一統様御機嫌よろしく御暮しなされまして御目出度存じます諸仲間の某氏商況視察の爲め米國へ渡航なされるさうで仲間の爲めに賀すべき事でありませぬら送別會を催しては如何で御座います會費は壹人前に二圓と定め中ノ島ホテル

織物には有名な地●近來一般に製造粗悪に流れ●代價は相變らず同様で●折角の好評も爲めに失ふ様になり●需用者日に減じ●一時の利を見る者の致す處●實に嘆はしい次第であります●御地の盛衰にも關する事にて●今に於て改良せ

に於て催す事に致し度御座います御賛成あらば御名前の上に御承諾の旨御記し置き下さり  
◎懇親會を催す文  
拜啓各位様益御健康で御目出度存じます諸人の世の中に立ちまするは御互に親睦するが第一であります況して同業仲間の者とは別段に懇にさせねばなりません其所で今度廣く仲間は固り同業者の外の人にも商業に従事して居る人は誰彼の差別なく懇親を結ぶの趣意で懇親會を開いては如何でありませう御賛成下さいますなら

◎催設門

なければ回復し  
難きに至る

◎取引先に就  
き忠告

未だ御承知はあ  
りませぬか◎近  
年迄は随分手堅  
い家でありまし  
たが◎仲間にも  
信用を失ひ◎度  
々失敗して◎同  
店と取引致す者  
はありませぬ◎  
以後は御注意然  
るべく存じま

す◎御懇意の間  
柄黙止し難く◎  
只風聞の儘

◎返信

御厚情の程有難  
く◎側に聞いて  
居ました◎危い  
場合でありまし  
た◎左用の事と  
は存せず◎多分  
の取引は致しま  
せぬ◎却て仕合  
でありました  
◎人の遊惰を  
戒むる文

ば来る何日と定め新聞に廣告して同志を集ると  
とに致します會費は一名に付一圓とし會場は森  
吉樓と定めます積で御座います尚諸君に御意見  
も御座いますれば御覆藏なく御申越し下さい

◎商業談話會を催す文

此頃は朝夕餘程涼しくなりました御互に暮よく  
なりました是からは古人の言ひました燈火親む  
べきの好時期であります皆様は御商業に御忙し  
く入らせられませうけれども少しづゝの暇を偷  
みまして毎夜若くは隔晩に商業上の談話會を催

しては如何で御座います御互に新智識の交換を  
しまするのも實業の研究となりまします今日は實  
業の世の中でありましますから十分發達させねば  
なりません只店頭に座つて算盤をパチ／＼音と  
せて居りましても實際の世界の商況は分りませ  
ぬ事と存じます吾々仲間の御方には随分世界の  
商況の大勢を御承知の御方も有うと存じましか  
ら此人等より話を聴取参考と致しまするも利益  
少からずと存じます諸君に於て御賛成下さらば  
早速に催す積りで御座います貴意如何御尋申上



貴君此頃商業に  
不熱心の由◎如  
何なる事にやと  
存じて尋ねまし  
たら◎眞の御病  
氣ではなく◎病  
氣は致方があり  
ませぬが◎御互  
の年輩で職業に  
不勉強では一生  
身を立つること  
は出来ませぬ◎  
御両親に對し不  
孝此上なし◎過  
ちは改むるに憚

ます

◎全 返事

御諭の如く好時節となりましたが吾々は日々一  
個の商業に日夜只店頭に座して時間を費すは必  
りで一向抄々しい事も出来ず狭き店頭を商業界  
として日を送つて居まして廣く世界の商業の有  
縁などの事は毛頭考をもちませず頑固な事を申  
して居りまするは實に耻しき次第で御座います  
幸商業談話會なるものと御催しをされるは有益  
の事と存じますので大賛成で御座います付ては會

るを勿れといふ  
古人の格言もあ  
ります◎一旦過  
つても之を改め  
て勉強すれば反  
て初めに優るも  
のであります

場等の事も御相談申度何れ今夕にても御宅へ伺  
ひます

◎直下相談會を催す文

◎大酒を戒む  
飲酒を好まれ品  
行修まらず◎  
君の上に於ては  
疑居りしに實  
際の事とは以て  
の外の事なり◎  
世評でありと存

此頃は經濟界の變動にて一般不景氣を唱へ諸物  
價とも追々下落の大勢に趣きました様子であり  
ます◎此際吾同業者ばかり相變らず高直を守つ  
て居るは如何と存じますから御一統相談の上直  
下致すことに取り極め申度何れ諸君の御意見も有  
らう事と存じますので本日午後六時より商業集  
會所に於て協議を遂げ申度早々

◎全 返事

せしに◎人には一癖あるを免れずとは申し乍ら酒癖は最も人の思むべきことであります◎若し世評の様なれば速かに御改心なさい◎友人として君の爲めに思告すべし

◎忠告を受けしを謝す友人として御親切なる忠告を受

御手紙下され有難く拜見致しました不景氣に付て追々諸物價下落に傾きますに付て我々仲間も此儘に打過る事は出来間敷此際直下の御相談御催なされ度思召は御尤で少も誰も異存はなゝ事と存じますから早速御催然るべくと存じます御手数乍ら仲間へ御廻達して下さゝい御頼申上

忠告門 人の非行を知りて之を戒むる文

◎製造品に付て忠告する文

け千萬有難い◎實は友人に誘はれ一たび登樓を試みしに◎竹馬の友と雖も斯の如き信實なるは貴兄のみ◎貴兄の實意に謝する考へである◎尙此上乍ら御引立を願ふ◎僕の益友は獨君のみ◎肝に銘じて忘れ申さず

◎博覽會へ出

貴縣で製造せらるゝ何品は我邦にて二等を下らぬ良品でありました◎近來の製造は追々粗惡になりますとの評判を耳にしましたけれども世上の誹毀にもやと思ふて居りましたが果して事實で大に驚きました◎同品は外國の輸入をも防ぎ其上輸出品中重なる物で世の好評高かりしに今俄に聲價を落しては貴縣の爲めに惜むばありでなく國家の爲めに悲むべきことであります◎就ては御地有力の諸君は獎勵して世上の信用を恢復せられ度ものと希望します今にして改良を謀られ

◎忠告門

品を勧むる  
 貴店御發賣の何  
 品は世上の好評  
 を博し居り◎世  
 の有益の品◎幸  
 に當地に開會の  
 ある事なれば◎  
 貴店の名譽はか  
 りでなく同業者  
 の名譽であるこ  
 となれば◎是非  
 共御出品なさい  
 ◎拙者が申すま  
 でもない事であ  
 りますが

ずば到底従来の地位に復することは覺束なこと  
 思ひます依て失敬をも願みず御忠告申上ます若  
 幸に此の忠告と御採用になりますれば満足の至  
 りです

◎取引先に付き忠告する文

承りますれば近來當地何町何屋と御取引成され  
 るとの事貴君は御承知でありますか如何該店は  
 昨今營業上の手違より非常の失敗で以前の如く  
 手堅きことない様子に同業者も申居ます併し未  
 だ甚だしき事は有まいと存じまするけれども餘

◎全返事  
 愈々博覽會の開  
 設も近うなりま  
 して◎出品者も  
 準備に暇なしと  
 存じます◎拙者  
 も兼て心組はし  
 て居ます折柄  
 にて◎我同業者  
 に先ちて出品し  
 て獎勵せんと思  
 ひます◎燈臺本  
 暗になりては如  
 何にも不勉強に  
 なりまする

深入は成さらぬ様御注意までに申上ます他人と  
 誹毀する様でありますけれども御懇意の間柄  
 で傍觀して居るも本意ならずと存じまして申上  
 まする事なれば只御含までに御聞取下さい早々

◎返 信

御地何町何屋と取引の事に付御親切に御注意下  
 さいまして有難う存じます實は未だ承知して居  
 ませ今更に驚入ました幸に只今の處では多分  
 の取引も致して居ませ却て差引當方より支拂  
 まする計算に成て居ますから御安心して下さい

◎會社へ加入  
 を申込返事  
 有志者の設立せ  
 られました某會  
 社は組織も完全  
 なる由に承つて  
 居す◎國家有  
 益の會社と存じ  
 ます◎當市有力  
 者の發起に成り  
 たるものであり  
 ますから◎一  
 應規則拜見の上  
 ◎留守見舞を  
 謝する文

此後は充分注意を加へます先は御禮まで早々  
 ◎人の遊惰を戒むる文  
 貴君此頃會社へ御出勤もなされませぬので御病  
 氣にても有るかと御察し申して居ましたか友人  
 より聞きますれば御病氣でもなく御両親に對して  
 は會社へ出勤すると申されて日々遊蕩にばかり  
 耽り居られる由貴君の事故風聞であらうと思ふ  
 て居りましたに實際なることを確め驚きました  
 勤務のある身にして遊蕩などに耽りなさるは以  
 の外の事でありませ御両親は日々出勤して居ら

長々旅行中の處  
 漸く昨夜歸宅致  
 しました◎留守  
 中は御氣附下さ  
 いまして◎御心  
 添に預りました  
 ◎歸宅後取込で  
 居ますので◎名  
 物に甘い物なし  
 と申します◎緩  
 く御話に御越し  
 下さい◎濕車積  
 にして送る事に  
 して◎最早着の  
 事と存じます

る、様に思召すのに心に其の不品行を成され御  
 両親の御承知になれば如何程驚き且御歎きなさ  
 るで有うと思ひやられます何卒今にして改心を  
 され職務に勉勵し給はねば貴兄の信用は地に墜  
 ちて生涯の取戻が出来ませぬを僕は友人の情誼  
 として黙止難きより失敬を顧みず風聞の儘忠告  
 致します若し僕の此の忠告を用ひて下さらば大  
 幸であります  
 ◎大酒を戒むる文  
 承れば貴兄此頃大酒豪飲するとの事酒は百藥の

●人の性質を問合す文

今度弊店へ雇入れます何某と申人は如何なる人物でありませぬ  
●兼て御懇意に成されませぬ由  
●媒介人の言は信じられませぬ  
●充分聞取の上雇入れ度  
●御手数恐入ますが

長と申すは宜しく其の身体の度に適する程に飲むといふのであります然るに非常の大酒を飲んで養生に害をなすといふとは決してない事です古より豪飲して身体を害し終に病を醸し長命を保つことの出来ませぬ例は多いものであります尚又酒を豪飲する者は必ず職業を勉勵することの出来ぬ者で多くは怠惰に流るゝ人となります貴兄将来大望の有る身にして身命に害あることを戒しめぬは過失の甚しきものと謂はねばなりませぬ速に禁じて素志を立てられんことを希望

●郵便税摘要

●郵便物の大きさ制限  
長さ一尺三寸幅八寸五分厚五寸  
●郵便税  
書状目方四匁迄毎に三錢  
葉書一葉 壹錢五厘  
往復葉書 三錢  
封緘端書 三錢  
新聞其他定時刊行物 一號一個(廿匁毎に) 五厘(二號) 二匁以上一匁(廿匁毎) 東(廿匁毎)

致します

●忠告を受けしと謝する文

小生一身上の事に付御親切の教戒をして下さいますして有難い貴兄の如き篤實ある益友でなくては斯様な懇なる忠告として呉る者があらうに之と思へば實に身骨に徹して忝い小生如き者を御見棄なく御意に掛られるは何の因縁ぞや小生不圖心得違より斯までも墮落致し貴兄等に對しても面目なき次第で御座います貴兄の御諭により全く迷の夢と覺しました以後は決して放蕩致

●(に)壹錢  
書籍各商品見  
本(冊)夕迄毎  
に(貳)錢  
農産物種子(一  
二十夕毎に)  
壹錢

●書留手数料一  
個に付 七錢

●別配達料は一  
箇に付 七錢

市外は三十錢  
市内は十錢

●他の郵便區  
内に配達す  
るときは差  
出人指定の  
郵便局と名  
宛郵便局との  
甲程に應じ  
別に一里迄

す間敷貴兄の御親切に報いん爲め一層謹慎勉強  
致す積りですから御安心して下さいとい尚此上な  
ら舊に倍し御愛顧の程を願ひます

●商業雜門 商業に付て部門を分つて  
どの出來ぬものを集む

●博覽會へ出品と勸むる文

今度第五回勸業博覽會開設に付ては何方も出品  
の準備最中なる事は新聞紙上でも見るばかりで  
もなく夫々勸告もありません事故御互に當市に  
住居して目の前に博覽會開設になるを傍觀して  
出品もせぬとは餘の不勉強で他府縣の人にも耻

毎に 十五錢

●留置通知料一  
個に付 三錢

●配達證明料一  
個に付 三錢

●價格表記料表  
記金額十圓迄  
は 三錢

●十圓以上十圓  
を増す毎に  
五錢

●代金引換料一  
口に付 五錢

●外に取立金送  
達料として其  
引換金額十圓  
迄は 五錢

しい次第であると思ひますから出来る丈の出品  
して一は吾商業の有益を謀り一は同業者を奨勵  
するの一端ともなる様にと存じます定めて貴君  
には早くから準備も御座いますとは存じますが  
一寸氣附ました事を御勸め申します

●今 返事

博覽會へ出品の事をお勸に預り委細承知しまし  
た拙者も兼て出品致し度存意ではありまするけ  
れども是と申す物品もなく如何致さばやと苦慮  
の折柄であります御勸に依り弊店販賣の何品

十圓以上百圓迄は其超過したる額に對し  
 十圓迄毎に對し  
 百圓以上三百圓迄は其超過したる額に對し  
 十圓迄毎に對し  
 三錢

●郵便爲替

●郵便爲換金額制限證書一枚に付  
 通常爲替 五十圓  
 電信爲替 五十圓  
 小爲替 五圓

●通常爲換料 十圓迄六錢

を出品する事に取極めます品の精否に拘りて出品を躊躇致して居ましては到底出品は出来ませぬ  
 ぬら耻を暴すとも一番奮發します就ましては出品の手續等不案内ですから篤と承旁一度參上萬端御相談も致します先は御返事まで早々

●會社へ加入を申込れたる返事

今度某會社設立になりましたので加盟の儀御勸に預りまして御親切の段有難う存じます御示の組織其他の規則など拜見しますれば基礎が固く隨分有益なる會社の様存せられますので加盟

二十圓迄十錢  
 三十圓迄十五錢  
 四十圓迄二十圓  
 五十圓迄廿五圓  
 六十圓迄三十圓  
 七十圓迄三十五圓  
 八十圓迄四十圓  
 九十圓迄四十五圓  
 十圓迄五錢

●電信爲換料

●在清國本邦局と内地と通常爲換  
 十圓迄十錢  
 二十圓迄二十錢  
 三十圓迄三十錢  
 四十圓迄四十錢  
 五十圓迄五十錢

十圓迄十錢  
 二十圓迄二十錢  
 三十圓迄三十錢  
 四十圓迄四十錢  
 五十圓迄五十錢

致すことに決心します就しましては尚委細の事承度何れ御面會の上何角の事申上ます

●留守中見舞を謝する文

皆々様御機嫌よろしく御消光で御目出度存じます私事昨夜無事に歸宅致しました留守中は毎々御見舞下さい其上種々御世話様になりました有難う御禮申上ます拙者早速參上御禮申上まする筈であります長々の旅行で草臥まして失禮致します此品彼地の名産でありますので少しながら土産の印までに差上ます何れ御目に懸りまして御禮申上ます

錢五十圓迄  
 五十錢  
 ●小爲替料證書  
 一枚に付 三錢  
 ●至急電信爲替  
 通報手数料 四十錢  
 ●市外住居の受  
 信人爲替證書  
 別使送附料は  
 郵便別配達料  
 の通り  
 ●爲替金拂渡濟  
 通知料  
 郵便に依る  
 ●もの  
 三錢  
 ●電信に依る  
 ●もの  
 相當の電  
 報料

御頼の御店の品物は先方で買取鐵道便に託し  
 て置きましましたから今明日には貴店へ着荷の筈  
 で御座いますから左様御承知して下さい

●人の性質を問合す文

今回或人の周旋で某と申人弊店へ雇入る、事に  
 なりましました。が本人の性質未だ篤と分り兼ます  
 ので不安心ですが貴店には能く御承知の様承  
 りました。が如何の人ですか何卒同人の性質品行  
 等御聞かせ下さい。御頼み申上ます

一致文 實業往復用文

序

實業擴張の基礎は廣告に在り、利益交配の主源は廣告な  
 り。こは、歐米商賈間の通諺なり、乃兩州實業家の収利増  
 益の機關として、最も珍重せられつゝあり、時に我國現  
 今の商勢、日夜頻々として盛昌に赴かんとするの狀況あ  
 り、否通商貿易の道、特に進運の氣大なれば、茲數十年  
 を出ずして、世界屈指の富國とならんこと疑ひなかるべ  
 し、然れども總て内地實業家十中の五六は、未廣告の有  
 益なることを知らざるもの、如し、遇能く之を知るもの  
 あるも、作文上の煩を厭ひ、思はず等閑に流るゝの輩少



からず、悲歎の至りと云ふべし、鳥山中村思ふところあり、各種廣告文例なる一小冊子を著せり、蓋し天下廣告を要すべきもの、實に數千の多きにあるべければ、今悉く之を網羅せんこと素より容易ならずと雖も此書特に實業家日常最大必要の文例を掲げ、別に叮嚀親切なる注意録をも加へたれば、全く實業家座右の参考書としては決して畫餅ならざるを信ず

中 村 鳥 山 識

各種廣告文例

目 次

◎ 總 說	一	◎ 清國名藥黃龍膏	一五
◎ 安全保証勤儉貯蓄函	五	◎ 附右作法の注意	一六
◎ 和洋新製御菓子賣出し	七	◎ 學生の戒	一七
◎ 附右作法の注意	九	◎ 撰遊戯唱歌	一八
◎ 新發明化粧水衣通姫	九	◎ 極便利新安織子ル地	一九
◎ 附右作法の注意	二	◎ 胃病珍藥即効ポードア	二〇
◎ 輕便學生文具箱	二	◎ 西洋新形護謨製玩具	二二
◎ 附右作法の注意	四		

◎ 染物悉皆調進所	一三	◎ 餅店開業	三七
◎ 活版開業廣告	一四	◎ 壽計賣出し廣告	三八
◎ 木綿問屋開業	一五	◎ 牛肉店開業	三九
◎ 紙類發賣廣告	一六	◎ 鶏肉大安賣	四〇
◎ 印刷師廣告	一八	◎ 會席料理	四一
◎ 善哉店開業	一九	◎ 洋料理店	四二
◎ 料理店開業披露	二〇	◎ 御手輕料理並に辨當仕出し	四三
◎ 饅飽蕎麥開業廣告	二二	◎ 牡蠣料理	四五
◎ 酒類問屋	二三	◎ 味噌色々	四六
◎ 銘酒鶯	三五	◎ 罐詰類一切大販賣	四七

◎ 干物類發賣廣告	四九	◎ 和服類一切裁縫調進所	六二
◎ 砂糖卸小賣廣告	五〇	◎ 女學生御着用袴調進所	六四
◎ 魚類賣出し披露	五一	◎ 莫大小類卸小賣	六五
◎ 珈琲香煎店開業	五二	◎ 東京袋物類開店	六六
◎ 生絲並に組紐一切販賣	五三	◎ 縫箔屋開業披露	六九
◎ 吳服店開業廣告	五四	◎ 履物類一切大販賣	七〇
◎ 襟地販賣	五六	◎ 靴革靴其外皮細工物	七二
◎ 足袋卸小賣開業	五七	◎ 傘提灯店廣告	七四
◎ 股引腹掛類發賣	五八	◎ 蝙蝠傘大勉強賣	七五
◎ 歐米流行洋服店 最近新形	五九	◎ 帽子商廣告	七七

支那革靴製造並に發賣	七九	古金銀賣買並に兩替	八七
煙管煙草入類	八〇	刀劍賣買並に洋劍製造	八八
煙草並に卷葺	八一	弓類製造販賣	八九
逸物富士印紙卷煙草	八二	藥王清麗丸	九〇
茶舖廣告	八三	活法養胃散	九一
玉露製園の雪	八三	精華散	九二
古着商廣告	八四	皮膚病豫防水美容丁幾	九四
古才賣買廣告	八五	化粧用品春の園	九五
古道具賣買	八六	艶妍水一名美髮液	九六
骨董店開業	八七	櫛簪筭類其外御婦人用小間物	九八

鏡臺針箱手文庫製造	九九	幻燈器械大安賣	一〇七
針類營業披露	一〇〇	活動寫眞器	一〇八
扇子店開き廣告	一〇一	寫眞店	一〇九
三寶折敷販賣廣告	一〇二	輕便寫眞器發賣	一一一
神佛祭典葬式用器具	一〇二	速寫版製造賣出廣告	一一二
金銀銅鐵細工師	一〇三	花蕊疊表業	一一三
鍛冶職開業廣告	一〇四	緞通絨緞類	一一四
金銀飾職廣告	一〇四	漆器類取次販賣	一一四
時計店廣告	一〇五	漆器類製造業開店	一一五
眼鏡製造	一〇六	市松雛人形店	一一六

◎ 日章旗幟製造	一一七	◎ 輕業奇術	一二七
◎ 茶器類營業	一一八	◎ 寄席廣告	一二九
◎ 鐵瓶鍋釜其外鐵物萬類	一一八	◎ 講談席開設	一三二
◎ 建具類一式	一一九	◎ 移轉廣告	一三三
◎ 植木屋開業	一二〇	上欄	
◎ 陶器類一手大販賣	一二一	◎ 廣告格言要覽	一
◎ 西洋小間物類	一二二	◎ 廣告文類語便覽	五
◎ 旅館開業廣告	一二三		
◎ 下宿屋	一二五		
◎ 貸席開業披露	一二六		
		目次終	

廣告格言要覽

- ◎ 廣告は利益の基本なり
- ◎ 廣告は商業の大資本なり
- ◎ 廣告は商業の源なり
- ◎ 廣告は商業の腦髓なり
- ◎ 廣告は商業の手足なり、足あればこそ利あるところに進むべく、手あればこそ益あると

各種廣告文例

總說

世間金儲けの方法たるものは、其數極めて多く、今更之を擧列ねて、此處に一一書き盡さんこと、決して容易の行爲にあらざるなり、然れば歐米諸洲商業家の間に尊重んぜられ、利益の要素は廣告なり、賣買の好案内者は是唯廣告のみ、廣告大なれば收利大なり、廣告巧なれば潤益密なりとまで呼唱さるゝところ

ころを握るべし  
 ○ 商業に於ける廣告は恰も草木の花の如し、然れば其花美あるときは、人能く草木を識るに至り、廣告大なるときは、人能く其の商業を認むべし  
 ○ 廣告は實業の種なるべし、現時にして之を蒔かば、將來利益の芽を發せん

の廣告法を編綴り、特に詳細なる解釋を加へ更に數百種の文例を示し、全以て廣告の利益多き次第を説かん  
 夫れ廣告なるものは、自己の營業職分を披露し、廣く世間の人々をして、其の實際親切なること、篤實なること、叮嚀なること、懇愛なること、虚ならぬこと、邪ならぬこと、利益多くして損害なきこと等に於て總て信念の心を發さしめ、特に憑頼しく感ぜしむるにあり、然れば素より虚詐を書くべからず、決して

○ 廣告は彈丸の如し、之を放つこと彌多ければ、其の標的に當ること益多く、又其形大なるときは、音響亦大なり  
 ○ 廣告は商家の舌なり、我より姓名を語ればこそ、人亦之を呼ぶに至る  
 ○ 廣告を用ゐざる商業は翼短き鳥の如し  
 ○ 廣告は實業の名

て欺き惑はずべからず、正直眞實、有りの儘を記して、愛意慕念はしむることを忘る勿れ去りながら其の文字の配置、商標印章の形状文語辭句の順序氣勢等、成るべく美麗にして面白く、簡短にして意義深く、僅少にして目立ち易く、一點一抹必皆他人の視線を迎ゆる様、極めて快活なる筆を執らんことを要す、尤も大形なる紙面に於て、大字を列ね、彩色圖を加へ、充分企望を述べ得るまで、長き文句を書加ふときは、其効果多きこと今更云ふ

刺なり  
 ○名刺言はずして  
 我名を人に通じ、  
 廣告は語らずして  
 實業の状況を陳ぶ  
 る得  
 ○世人常に奇を好  
 むもの多し、然れ  
 ば廣告文を作らん  
 と欲ば、宜先づ奇  
 句を用ゆべし、奇  
 句必ず人目を迎へ  
 ん

を要せざれども、必竟失費少ならず、經濟  
 上損得相償ふ能はざるの虞なしとせず、故に  
 廣告法の主點なるところは、寸を以て尺を導  
 き、一を餌として百を釣るにあれば、及ぶ限  
 り輕便なる文句を示し、視る人々讀む人々を  
 して、深く感念を發さしめ、厚く信意を送ら  
 しむるにあるなり、乃ち次記文例中、數種別  
 類の作方を掲げ、一一細密なる注意をも加へ  
 たるなり、尙以下諸文例は總て斯の標準に従  
 ふべきものとす

類語便覽

○前記名號の如く  
 ○前に記載せたる  
 題號の如く○表題  
 の通り○勤儉用貯  
 金箱○貯蓄用金子  
 入○儉約保金袋○  
 特殊○殊更○特別  
 ○堅牢なる○強剛  
 なる○強硬なる○  
 製整げ○調製げ○  
 整頓げ○非常に巧  
 妙なる○極めて精  
 緻なる○最も精巧

(一) 安全 勤儉貯蓄函

大形金貳圓五拾錢  
 中形金壹圓參拾錢  
 小形金六拾錢

此は前記したる名稱への通り、安全なること  
 を保證ふて、販賣くところの儉約用金だめ箱  
 です、殊別け工學博士飛彈巧美氏の發明にて  
 堅固なる木地を以て製成げ、非常に精巧な  
 秘密蓋まで添ふて居るのですから、決して他  
 人の手で開くことが出來ぬやうに組織である  
 加之此函を用ゐて金錢を貯蓄へんとするも  
 のが、銘々企望み通りの金錢を投入れたる上

なる●組立て●組  
 構て●構成て●剩  
 へ●且●尙●其上  
 ●貯藏へんとする  
 ●蓄藏へんとする  
 ●保蓄へんとする  
 ●各●各自●個々  
 ●誰も彼も●頗る  
 怡々●最も快怡●  
 至つて面白き●極  
 めて快妙●考案●  
 ●意考●想案●意  
 想●整備へ●完成  
 へ●完備へ●調設  
 へ●寶匣●寶器●

は、其の當日より二十八日目でなくては、取  
 出されぬと云ふ、頗る愉快き意匠から調整へ  
 られた寶函です、乃で今般弊店の大勉強で、  
 鴻湖華客の御便利に供へ、平素御引立ての敬  
 謝を兼ねまして、無類飛切りの安價に賣捌き  
 ますから、何卒海岳に御注文下さいませ

製造本店

府縣市町村  
番地邸

金高増藏

何電話番

右作方の注意 此の廣告文は、嚴重なる文  
 字を用ゐながら、殊更了解り易きやう傍訓

玉函●珠囊●今回  
 ○這回●今度●弊  
 舖●插店●草舖●  
 草店●茅舖●世間  
 ○世上●愛顧者●  
 得意●最負先●平  
 常●常々●常時●  
 日常●日頃●感謝  
 ○恭謝●鳴謝●恐  
 謝●謹謝●旁●  
 併せて●無比●無  
 類●無雙●無二●  
 卑價●廉價●安直  
 ●多々●澤山●山

を添へたるものにして、唯本字ばかりを視  
 るときは、總て漢語を並列べたるものらし  
 きも、其の傍訓の簡易なるが爲、誰にも通  
 じ易き文面となれるなり、加之言文一致體  
 を用ゐたれば尙々意義を明にして、廣く人  
 々に知り得らるゝなり、全く廣告の要點は  
 目立つところありて、會得り易くするに在  
 るなり

(二)

新製和洋

御菓子賣出し

罐詰、折詰  
饅詰、種々

(二)御菓子賣出し  
 ●開けてぞゆく御代の春○開くる世々の春風や●今朝吹初めて○未開より吹初めて●蒸り立ち○香しく○匂かに●來啼く●鶯聲清みて○啼く鶯の聲澄みて●賣初め○初めて鬻ぐ●色ぞ増すなる満壽鏡○照り増鏡曇りなく  
 ●燦爛く○照輝く

開けゆく代の朝風や、今日吹初めて長閑くも、梅ヶ枝町の香りよく、花本樓の盛りなり、鶯來なく聲ゆかし、ホーホケキウとやさしくも、初賣出して紅焼き、色増す鏡曇りなく、光輝く玉簾、ゆらくばつこ小ゆるぎ餅、味は一層甘納豆、千歳餅なる壽の、目出度尊さ高砂豆、好き評判を菊の餅、忘れぬまで御賞美に預り、茲新玉の御祝ひかたく、平素に勝る大勉強、御菓子な自慢と御笑ひなく、相も變らね御鼻負のほご、伏して願ひ奉る

●一際○別段○別格○一入●慶賀き  
 評判○目出度世評  
 ○芽出度公評●忘れ遣られぬ○得も忘られぬ○忘れも遣られぬ●過賞に預り○恩賞を蒙り○賞詞を頂き○褒詞を添うし●茲に初年の○茲初歳の●優る○越ゆる○陪すなる●御嘲嗤ひなく○御噴飯ひなく

右作方の注意 斯様に讀續きの面白く、口調の順序よき文句を並列ぶるには、成るだけ種々の事状を引用る、品物の名稱へに比喩へて、味深く聞ゆるやうに組成つるなり然れば文字も文語も及ぶ限り美麗に研艶きものを撰び、讀む人々をして、覺えず知らず、愉快を感じしむるやう作べきことなり

(三)

新發明 化粧水 衣通 姫  
 大罐 金五拾錢 郵税は總て  
 中罐 金三拾錢  
 小罐 金拾錢 弊店の自辨



(三)衣通姫  
 ◎各位◎諸彦◎諸君◎諸賢◎御承知  
 ◎御特承◎御承知  
 ◎御了承◎御了承  
 ◎世間尋常◎鴻  
 ◎湖一様◎四方一  
 ◎通の◎古昔の品◎  
 ◎昔時の物◎往古の  
 ◎物◎曩昔の品々◎  
 ◎併しながら◎去れ  
 ◎ごも◎而も◎然れ  
 ◎ごも◎雖然◎疎店  
 ◎拙店◎劣店◎妙  
 ◎手◎妙技◎巧手◎

皆様の能く御存じなる、小町水、貴妃水、光氏香油、業平香水等、世間普通の品々は、最早古代の物たるべし、去りながら弊店今度賣出しの衣通姫は、オースチン博士の妙手に成る、新發明の化粧水にて、未賣出しの聲なきごきより、遠く歐米の國々に聞え、近く内國の隅々に響き、世界無雙の香水なり、化粧用の神液なり、一度之を用ゐれば、肌膚は玉よりも輝くべく、色は益す白妙の、衣を通して照りますらん、買へよ求めよ競争烈しく、昨

優技◎新發意の◎  
 ◎新意匠の◎新意考  
 ◎の◎新案の◎遙に  
 ◎海外の邦々◎遠く  
 ◎洋外の地方◎聞え  
 ◎亘り◎鳴響き◎鳴  
 ◎渡り◎聞傳へられ  
 ◎内地の都鄙◎國  
 ◎中の隈々◎國內の  
 ◎何れにも◎宇内無  
 ◎比の◎世界卓絶の  
 ◎天下無敵の◎四  
 ◎海絶無の◎一回之  
 ◎を使用せば◎一度  
 ◎を試むれば◎珠

日今日の二日にして、既に拾万疋を賣盡せり、扱も華客の御引立ては、斯くまで深きものなるかよご、天を仰ぎて感謝々々、地に伏して恭禮々々

大坂市東區本町、電話何番

製造大賣捌本舖 化粧品店 何某謹告

右作方の注意 此の如き廣告文には、成るべく世間に有りふれたる、他の類似の品々を例に引き、弊店の製造品の優れたることを述べ、互に比較べて、非常なる等差ある

よりも輝くべく○  
 珠の光りに優るべ  
 く○珠玉に勝る光  
 りあり○競争盛ん  
 に○競争劇く○最  
 早二拾萬個を嚮ぎ  
 盡せり○疾く三拾  
 餘品を賣了れり○  
 如斯に○如此に○  
 夫程までに○天地  
 を拜して○天に向  
 ひて○恭謝々々○  
 泣謝々々○頭を垂  
 れて○頓首、稽首  
 ○拜禮○萬禮

ここ、價格の安きここ、用ゐて利益となる  
 こと等、充分に説立つるを要す、又郵税無  
 料と書添へんよりは、總て弊店の自辨と、  
 親切を込めて廣告すべし

(四)

輕便學生文具箱

大金五拾錢 郵税六錢  
 小金貳拾五錢 郵税貳錢

右輕便學生文具箱は、第一堅牢なる鑲板を以  
 て製造したる、長形の箱にして、内外とも  
 に黒色漆を塗り、更に金を以て美麗なる模様

(四)學生文具箱  
 ●鑲製の○金屬製  
 の○白葉鐵板の○  
 亞鉛板を以て製造  
 したる●小函○寸  
 匣●表裏とも○内  
 外とも○表裡とも  
 ●妍麗なる模様○  
 嫵媚なる○艶美な  
 る○鮮麗なる●區  
 別し○區隔し○區  
 分し○分割し●一  
 個を帶ぶるときは  
 ○一品を提ぐるこ  
 きは○一器を用意

を畫き、蓋の裏面に寒暖計及晴雨計を備へ、  
 内部を三段に區畫して、肉池、印財器、墨池  
 糊入、印紙郵便切手入、毛筆、鉛筆、鐵筆室  
 墨汁壺等を裝置し、唯此の小箱一個を携ふる  
 ときは、文具悉皆整然として、何不足なき便  
 益を得べし、全く是拙店自慢の名器なれば、  
 今般特に廉價を以て、廣く販賣仕候間、何卒  
 平常の御愛顧に任せられ、續々御購求被下度  
 謹で奉希上候敬具

する折りは◎萬般  
 整頓して◎萬事具  
 備して◎何事も不  
 足なくして◎總て  
 相整ふて◎便利を  
 得べし◎便宜を得  
 べし◎自慢の優品  
 ◎自負の絶品◎誇  
 るべき名器◎殊更  
 の安價◎特別の安  
 直◎別段の安賣り  
 ◎御惠庇◎御愛慈  
 ◎御懇慮◎御愛慮  
 ◎奉願◎候◎頼  
 上候◎奉請候

自慢文具製造  
 賣捌きの大王

何府縣市郡  
 町村番地邸

耕文軒

右作方の注意 此文は殊更に漢字を用ひて  
 音讀即ち堅牢、製造、美麗と讀ましめ、更  
 に左傍に振り假名を添へ、堅牢、製造、美  
 麗と、其の意義を解説したるなり、是亦世  
 人の目に立つところの作方なり、去りなが  
 ら餘程念を入れて解説しの充分なるやう注  
 意せんことを要す、若し少しにても誤謬あ  
 るときは、文章全體の意味を打破り、終に

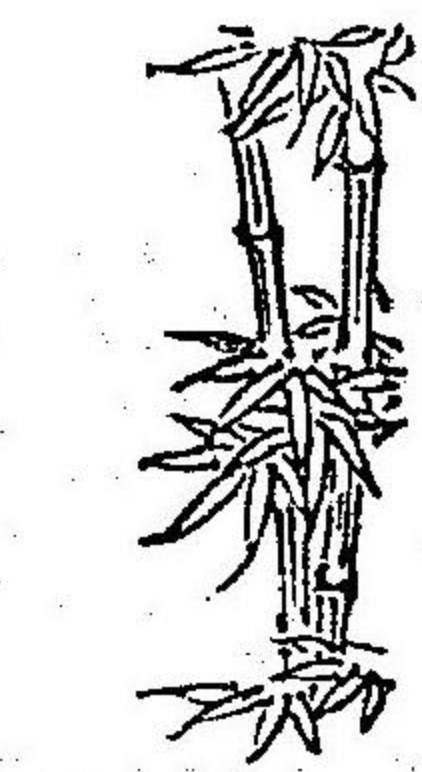
(五)黄龍膏  
 ◎優秀なる煙草◎  
 精秀なる煙草◎既  
 に世間の熟承せる  
 ところ◎疾く天下  
 に傳承せられ◎已  
 に萬人の知るところ  
 ◎効顯を云ふを  
 要せず◎顯著を語  
 るに及ばず◎佳品  
 ◎美品◎名器◎謹  
 告するのみ◎廣告  
 するのみ◎拜禮敬  
 具◎再拜敬白◎謹  
 拜誠告

廣告の効果を失ふに至るものなり

(五)清國名葉黄龍膏

百目罐 八拾錢  
 二百目罐 一圓四十錢  
 三百目罐 二圓十錢

黄龍膏の名葉なること、既に世人の熟知せる  
 ところなり、然れば今別に之が効能を喋々せ  
 ず、唯特に卑價にして還つて優秀卓絶なる好  
 良品たることを告示するのみ、四方萬國の君  
 子よ、請ふ來つて之を購はんことを、謹愼敬  
 陳



右作方の注意 此は漢文に假名を添へ、書下しと爲したるものにて、極めて簡短なれば、字義に通じ文辭に明なる人の眼より見るときは、殊更面白く感ぜられ、廣告の効顯著しと雖も、俗文の外通曉り難き向きには、不適當のものなり、然れば、斯く廣告すべき品物の、購求者の種類如何を考へ其の向きくに投合るやう、夫相應の文辭を用ゐんことを要す

(六) 學生の戒

一讀千賞 一誦三嘆 一閱萬感 一見十感 思はず快美ありと叫ばしむ 意外にも聲を發して稱嘆せしむ 天下絶無の妙句 なり 世間無二の優文なり 茅舖發兌の良書なれば 弊店發行の珍書なれば 一時も早く御買求めを請ふ 急ぎ御購求あらん

(六) 文學士園部先生の戒

全一冊

定價 四十錢 郵税

此書は文學士園部先生の名著にして、一讀千嘆、覺えず快く呼ばしむべく、知らず識らず千誦萬呼して止まざるに至るべきなり、然れば世間諸新聞雜誌上に於て、感評賞美の筆を惜まず、古今無比の好辭なり、神句なり、書立てたり、即是弊店出版の寶書なれば、平素愛顧の華客諸彦よ、疾く購讀せられんことを請ふ 敬白

右作法の注意 斯くの如き種類の書籍を廣告せんには、書下し漢文を用ゐるを可とす

ことを乞ふ  
 (七)遊戯唱歌  
 ●童男童女等の物  
 ●學ぶ○幼き子の物  
 ●學ぶ○園生の草木  
 ●咲く華や○園の梅  
 ●が枝野の櫻●緑り  
 ●彌増す松に杉○色  
 ●も變らぬ常磐木の  
 ●開け行く世の状  
 ●態を●書集めたる  
 ●歌なれば○掻聚め  
 ●たる藻掻草●最と  
 ●懇に示すなる○專  
 ●親しく教ゆなる○

去りながら及ぶ限り簡短にして、意義の明瞭ならんことを要す、尙其の文語快麗にして、知らず識らず感讀せらるゝやう作らざるべからず

雷山村岡先生著述  
 吟峯山田先生調譜

(七) 遊戯唱歌全一冊

定價 十五錢  
 郵税 二錢

讀むべき文は此文ぞ、讀むべき文は此文ぞ、  
 幼兒たちの物學ぶ、園生の樹々に咲く花や、  
 常盤色爲す松に杉、榮えてぞ行く世の様を、  
 筆に染めたる歌の數、五ツ六ツより七ツ八ツ

別けて親しく示す  
 なる●幼子を導く  
 案内とせよ○子に  
 教ゆべき葉とせよ  
 (八)新織ネル地  
 ●殊更奮發の上○  
 ●殊に勉強の上○取  
 ●別奮勵の上●及ぶ  
 ●丈け直段割引○充  
 ●分廉價を以て●御  
 ●便宜に奉供度○御  
 ●利益を計り度●前  
 ●記の如く●右の通  
 ●り○右記載の通り

調曲面白くかきならず、バイオリンなりオルガンの、音聲ゆかしき道筋を、最親切に教ゆなる、新撰遊戯唱歌なり、嗚呼世の人々よ人々よ、疾く一本を購ふて、童兒を守る便機とせよ

(八) 極便利 大安賣 新織ネル地

大巾一卷 金一圓十錢  
 小賣一尺五錢より  
 十錢まで

此度弊店に於て賣出候新織子ル地は、特に大勉強を以て、及ぶ限り安價を旨とし、世界御華客様方の御便利に應じ奉り度、前記の通り僅五錢の投賣りに御座候、尙大巾一卷のまゝ

●御命に應じ奉るべく御用に供へ奉るべく御命示に従ふべく他の較ぶべき品無之の外に必適すべき品無之○全く世間秀逸の名品●何卒海岳の御用○何卒々々多々御注文被下度●奉謹願候○伏して奉希上候

(九)即効ポ一ダア  
●合同處方○連合

御買求め被下候はゞ、一圓十錢の大割引を以て御用に從ひ奉るべく候、尤も新織の地質極めて厚く、絲目細くして却つて軟く、膚障り滑にして温く、綿入りシルの品々にては、他に類なき名物に御座候間、何卒く澤山御注文の程奉願上候敬具

(九)

胃病 珍藥 即効ポ一ダア

一日分 金十錢  
一週分 金六十錢  
二週分 金一圓十錢

右即効ポ一ダアは、大學醫學部長醫學博士井田先生並に醫學博士澤島謙齋先生の合劑にし

調劑●名劑○靈藥  
○奇藥○寶劑○神藥●尋常一様の胃薬にあらす○平凡なる○並々の○一服能く万病を治すべき○一劑能く萬患を除くべき●之を申受け○之を讓請け○弘く賣捌き○廣く發賣●見本御申越し○見本御企望●御送金相成度○郵券代用壹割増しにて御郵送

て、更に獨逸大醫ドクトル、メヂナ子、ワレン、ヘーゲル氏の保助に成れる名藥なれば、是迄世界各国に於て用ゐる來れる、普通胃薬の類にあらす、一試よく百疾を療すべき珍品なり、就ては弊店之を請受け、廣く販賣仕候間、弊店並に日本全國各支店、又は清國、韓國、歐米諸洲、最寄の御便利の地に於ける、代理販賣店につき、御購入を請ふ、尤も見本として御注文相成御事に御座候はゞ、左の割合を以て御送金被下候様奉願上候

(一〇) 護謨製玩具  
 サア〜御買  
 上げください。サ  
 ア〜御求めく  
 ださいませ。今度  
 新賣出の〇此度初  
 めて賣出し。千種  
 萬様の形態。千異  
 萬差の状況。頭を  
 振り尾を揺かし。〇  
 眼を張り耳を垂ら  
 し。〇怪妙不可思議  
 の機械。〇妙々奇絶  
 の器械。〇御兒子方  
 の御子供方。〇御樂

●一日分拾貳錢 ●一週分六拾四錢 ●二週分壹圓  
 尤も三週以上一度に御注文の方へは、充分割  
 引可仕候

(二〇) 西洋新形護謨製玩具 千種萬様

サア〜御買ひなさい御求めなさい、今度新  
 に賣出しました、西洋新形護謨手遊びは、種  
 々様々の形態あり、唯一種にして十色に變り  
 手を振り脚を動かしたり、眼を張り口を開い  
 たり、異行不思議の機械入り、御子様方の御

み〇御遊び道具〇  
 御藏れの品。〇世に  
 絶えてなき。〇世に  
 二つどなき。〇他に  
 類なき。〇美麗な景  
 品を進上します。〇  
 良い景物を献上し  
 ます。

(一一) 染物悉皆調  
 進所  
 調達〇調成。〇無  
 代で差出す。〇進呈  
 する。〇贈呈する。〇  
 他店の品に比ぶる  
 ときは。〇外々の品

慰みには、古今無類の品で御座る、殊に何れ  
 も安價を以て、トントウトンと賣捌き、三日  
 の間別段に、美事な景物を差上げます

(一一) 染物悉皆調進所

調進ご申しまして無料差上ぐるのでない  
 御用に從ふて相應の代金を頂き、夫々御好  
 みの色染めを致すのです、尤も他の向きく  
 に比ぶるときは、第一安價の大勉強、充分貳  
 割りの御利得あり、第二染色模様まで、一度

に較ぶる際は◎永  
世不變の◎永年不  
替の◎保證なり○  
保險附なり○拙店  
の誇言です○私の  
自負心です◎決し  
て虚語は御耳に入  
れませぬ◎兎もあ  
れ角もあれ○事の  
如何を言はせられ  
ず◎實地御試験○  
實際御試用

の手数を掛くるごきは、萬代不易の請合なり  
茲が拙者の自慢です、決して虚言は申しませ  
ん、何は兎も角實地に就き、御試めしの上御  
注文、續々御用を命ぜられよ  
右染物悉皆調進所主人 赤村緝兵衛

（二二三）活版開業廣告

弊所今般新電氣活動印刷機數臺を据附け、從  
前の業務を擴張し、一日にして數百萬部の冊  
子を仕上げ、一時にして萬餘通のレツテルを

の◎擴め○手廣に  
し○相擴め◎一度  
○一期◎極めて速  
に○至急至迅速萬  
電の轟く○電火の  
急燦く◎永當  
○始終○續々  
（二二三）木綿問屋  
◎以後○是より○  
將來◎何卒御惠庇  
○何卒御懇命◎至  
極安價○頗る安直  
◎非常の御便宜○  
無比の御便利○餘  
程の御便益○再拜

摺立て、機敏迅速、實に千雷の響くが如き勢  
力を以て、ごしく御用に應ずべく候まゝ、  
何卒々々御愛顧の程謹んで奉願候  
右電氣活動印刷所 何府縣市郡 町村番地 何 某  
（二二三）木綿問屋開業 品物優等 代價安直  
弊店儀今般某町に於て木綿問屋開業仕候に付  
爾今何分御愛顧御引立ての程奉願候、尤も内  
地各地木綿製造元より、直接取引罷在候間、  
全く他店に比ぶるごきは、數等安直に賣買仕



○敬拜○九拜  
 (一四)紙類發賣  
 ●販賣仕候○賣出し○相鬻ぎ○賣捌  
 ●名物○逸物○良品○佳品○素り  
 のこと○云ふを要せず○言を待たず  
 ●遠く海外より舶來の品々○遙に外國より購來れる物○聊たりとも疎品無之様○一點にても産物無之様○一品たりとも疎造

候去れば世間華客に於ても、餘程の御便利に御座候得ば、續々御注文被下度謹んで奉願上候九拜

何町何番地邸

何某

(一四)紙類發賣廣告

此處に發賣仕候、紙類の儀は、日本國內諸所名産の品々は勿論のこゝ、遠く清韓より取寄せたる唐紙紅紙を始めとして、歐米製造の大形紙千種萬類、悉皆舶來別品、少しも疎末の

のものの無之様●注意を加へて検査仕り○精々念入れ實験の上○最も精密に相調へ●決して不都合有間敷○必ず疎忽無之○特に輕勿の儀無之●遠近御布評○東西御傳達○諸所御吹聴●御同道○御同伴○御誘導

ものなきやう、念入れ精く調査げ、一切不都合無之こゝ、特に保證仕候、就ては今日開業を期し、先づ祝意を表し、併せて將來の御最負を奉請度、一週間産進呈仕候間、遠近御傳評、左右御連合せの上、續々御來店、御買求被下候様奉謹願候

紙類發賣本舗

同 支舗

同 代理店

何府縣市郡町村番地邸

何 某

何府縣市郡町村番地邸

何 某

何府縣市郡町村番地邸

何 某

(十五) 印刷師  
 ◎久敷 ○長々 ○是迄數年來 ○從來 ○左記の場所へ ○左の所へ ○次記の番地へ ○移住 ○轉宅 ○轉店 ○移店 ○何時にても ○時を撰ばず ○御好みに従ひ ○御望み通り ○即時 ○直に ○忽 ○豫備仕 ○準備仕 ○以前に勝る ○從來に數倍なる ○御惠顧 ○御懇命

(一五) 印刷師

鐵材、青銅、硝子、蠟石、象牙、黃楊

拙者儀多年某町に於て印材彫刻營業罷在候處、此度左記の箇所へ移轉仕り、種々珍奇美麗なる印材を相備へ、何時たりとも、世間華客の御好みに任せ、早速彫刻夫々御用に奉應度の既、既に萬端の準備相整ひ、本日開店仕候間、陪舊の御愛顧を以て、御引立被下候様伏して奉願上候再拜

年月日 印刷師 某市郡 町村 研勵堂主

(十六) 善哉店開業  
 ◎福祿館と名號けつ ○壽榮堂の名を掲げ ○賣出す以上は損とは成るまじ ○賣捌くので徳と成る ○一盃與へよと御命ある ○一碗持てよと御聲が掛り ○御客方にも御利益なり ○御來客にも御徳向き ○御光臨 ○御賞臨 ○御尊來 ○畢竟、到底 ○結末 ○何時も ○

(一六) 善哉店開業

一口食すれば舌も抜け一口味はば頬も落つべし

嗚呼善哉、福助亭と名を附けて賣出すからには損はあるまひ、一杯くれよと仰せらるゝ、御客様にも福となり、よく御來臨い御待兼ねご、膳に備へて持出し、代料を頂戴く亭主に於ても、必竟福となるばかり他人も善哉我身も善哉、善哉善哉で押通し、始終も福々福助顔、にこ〜笑ふて御待ち申せば、何卒御來篤くださいませ、味の好い

切に御來駕を請ふ  
 ○偏に御惠臨を乞ふ  
 ○一心に御曳杖を奉待  
 ○祝賀を併せて  
 ○祝儀を兼ね  
 ○祝ひを兼ね  
 ○景品多々有之  
 ○景物夥多  
 ○疎景數々  
 (十七)料理店  
 開業  
 ○春の曙空清く  
 ○等閑き春の曉天  
 ○軒の下  
 ○軒端の蔭  
 ○甲處乙地  
 ○阿地

のが大自慢、殊に今日開業の祝ひ旁に進呈する、麗景の數も少なからず、嗚呼善哉善哉嗚呼善哉

何府縣市郡町番地邸

福助亭謹白

(一七)料理店開業披露

春の朝の長閑さに、鶯來鳴く窓の下、障子ほそめに引明けて、何方此處を眺むれば、遠近よりぞ立つ煙、賑ふ籠數まして、人の往來の

此方賑ふ家々數増して  
 ○家々專賑  
 ○人の往復の  
 ○西走の最繁  
 ○餘  
 ○入るべき所もなく  
 ○新に開設けたる  
 ○新に設備けたる  
 ○一生懸命の  
 ○只  
 ○熱心の  
 ○虚  
 ○偽を申さず  
 ○舌を  
 ○二枚に用ゐざる  
 ○冷氣を防ぐ  
 ○寒氣  
 ○を禦ぐ  
 ○良友たり

澤なれば、錐をたつべきところも剩さず、土地繁昌の高津町、見はらし清き岡の上、今度新に建設へたる、料理店萬盛樓、主人榮田某が、一心不亂の勉強にて、味合芳野の櫻花、奥底知られぬ腕前の、庖丁加減を御試めしあれ、必ずく虚言ならず、二枚の舌を持たぬ證據は、此處に有馬の温泉ならねど、あつき醬汁は冬の夜の、寒さを凌ぐ好友たり、冷汁は却々に夏の暑さを妨ぐに足り、秋もあかれぬ愛情を込めて續々御來駕あらまほし

○好朋輩たり○良  
盟友たり○極暑を  
凌ぐ○極熱を凌ぐ  
○炎威を防ぐ○戀  
情○愛慕○心

(十八) 餛飩蕎麥

●開業  
●香芬佳く○香氣  
●良く○匂好く○絲  
●縁立つる○絲縁出  
●す●最厚く○頗る  
●深く○至つて深く  
●面を照らす月澄  
●みて○月清く●今  
●云初めた○陳上げ

(一八) 餛飩蕎麥開業廣告

花卷きの香りよく、絲縁出す小田卷きや、か  
やくごちにて結止め、親子の縁いこ深く、玉  
子の如き幼児の、顔にさらしな月さえて、專  
ごやさしきしのだ蕎麥、まむし皆様御聞きあ  
れ、今述べ立てた品々より、尙數々の鉢物あ  
り、蒸籠、しつぱく其外々、何れも味合上々  
吉、春の花にも勝るべく、夏は涼しく胸清く

た○陣立てた●味  
至美○味合極めて  
佳良○味最も美し  
く●最良○極めて  
優美○味最も秀で  
●胸開け○心潤々  
●●唯一盞を傾け  
なば○唯一杯を傾  
けなば●●薬に勝る  
効顯○薬味に越ゆ  
る○藥劑に打勝ち  
●●自負○高慢○傲  
●●慢○虚言なし○謔  
語無之○頼母敷き  
心○憑頼き意存

秋の月にも優るべく、冬は殊更暖く、唯一杯  
を試みなば、薬も及ばぬ効能あらん、今日開  
業の弊店は、斯くも自慢を申すなり、否々決  
して自慢でなし、正直正銘、刻印付き、否大  
保險付きの口上なり、尤も場所は浪華湯、短  
きあしの節の間も、忘られぬ迄戀はしく、ゆ  
かしき心有明町十六番地自慢軒々々々

(一九) 酒類問屋

和洋酒類  
萬種

**(十九) 酒類問屋**  
 ●酒類に由つて名高き場所○酒にて名譽高き所●從來の取引き○前々より○の取引き○久き以前よりの○前方よりの●最も確實なる○極めて正實なる●純美○精良○純粹●古今單獨○古來唯一●千様萬態○千狀萬況○色々様々●平常酒を好まるし方○常

池田、伊丹、灘、備後、琉球其他、總て酒類を以て有名なる地は、本店古來の取引あり、尙諸所支店、代理店等の設けあれば、何れも最も正確なる、製造元直接の販賣にして、酒質の純良精美なる代價の極めて低廉なる、古今獨歩、空前絶後のものたるなり、加之赤白葡萄酒、麥酒、三鞭酒、貌蘭泥を始として、英、佛、伊太利、亞米利加諸國新製の酒類に至るまで、千種萬品、悉皆弊店に於て、廣く鴻湖の需用に供せんす、常に甘露美祿の味

々銘酒を嗜まるし君よ●相魁げて○殊更競立ちて○我先きにと○自ら魁けて

を嗜まるゝところの君よ、請ふ相競ふて購求あらんことを謹言

**(一〇) 鶯**  
 ●甘味適度にして○甘味穩當にして○味合佳良にして●濃淡中和○濃淡偏き寄らず●舌に適し○口當り好く●好んで飲用せん●自ら進んで味はんとす●慶賀

**(一〇) 改良 鶯 卸小賣**  
 此鶯は弊店新醸造の銘酒にして、甘味其度に適ひ、濃淡偏重なく、特に能く數年の久きに堪へ、常に好酒家の口に應じ、下戸の舌に迎へられ、尙婦人童兒と雖ごも、好んで之を味はんとするに至る、然れば年中祝賀の席、祭

味は古今獨歩の美價は天下無雙の廉

の席○祝儀の宴○  
 祭事禮典○神事祝  
 典○懇和會○親睦  
 會○至要なる○切  
 要なる○最も要用  
 なる○緊要なる○  
 頗る多々なり○甚  
 夥多かるべし○最  
 も數多かるべし○  
 僞疑を云はず○詐  
 を告げず○未其口  
 を開かずして○未  
 塞栓を脱せずして  
 ○妙音を聞くべし  
 ○美聲を耳にすべ

典禮式の奉獻用より、懇親會、交際場裡、家  
 内常用に至るまで、極めて必要なる名品たり  
 殊に弊店大勉強を以て、世間無比の廉價に依  
 り、廣く鴻湖の需用に供せんとするものなれ  
 ば、購求華客の至便頗る多大なるべきなり、  
 弊店主決して虚を語らず、然れども若し之を  
 疑ふの士あらば、先づ試みに一饅を購ひ去れ  
 よ、未其栓を除かずして、ホーホケキヨ一の  
 聲を聞くべし、快絶快絶  
 卸小賣何れにても、御都合上御注文を請

し○御便宜上○御  
 便利上○御注文○  
 御購入○御取引○  
 代價割引○直段割  
 引○直段相働き○  
 豫備仕居○用意致  
 居○仕度能在○御  
 命示○御申付け○  
 御郵示

ふ、尤も代價割引並に御購求上御便利に  
 供度、別に明細書準備罷在候間、貳錢郵  
 券封入御申越し可被下候  
 何府縣市郡村  
 釀造販賣本店  
 何  
 某  
 (三二)餅店開業  
 大中小種々御祝儀用  
 並に臨時賃搗仕候  
 今月今日を以て左記の通り開業仕候間、爾後  
 何分にも御最負の程奉請上候  
 所は東區布袋町、御腹の膨脹れた御多福餅、  
 莞爾笑ふた惠比須餅、頭巾包みの大黒餅、色

惠比壽の鯛煎餅○  
 鯛釣り上げた惠比  
 須餅●大黒用の頭  
 巾菓子○槌形入り  
 の大黒餅●美魔無  
 類の辨天餅○容貌  
 美々しき辨天餅●  
 長き頭の福祿壽○  
 頭も家も永々と續  
 く福祿餅の形●最  
 嚴重き毘沙門糖○  
 幸味殿し毘沙門  
 糖●壽祝ふ老人  
 餅○壽老人餅長命  
 館

艶研き辨天餅、ふつくり高き福祿餅、塔形附  
 きの毘沙門餅、一口食べても命を延ばす壽老  
 餅まで打揃へ、七福軒の名題を掲げ、大勉強  
 で賣出します、取別け精撰んだ餅米こ、味好  
 き館を用ゐますれば、世間無類の品ですから  
 先試みに御買ひください

目出度屋 七福軒 何區何町 何番地邸

(一一一)壽し賣出し廣告

元屋臺壽し 營業罷在候  
 平素御愛顧に預り、眞以て幸榮の至りに奉存

(一一一)壽し賣出し  
 ●眞以て幸福至  
 極○實に多幸々々  
 ○四方各位の御懇  
 誘○世間准客の御  
 愛誘○御勸告●元  
 料精撰○元料精査  
 ○元料の最優等な  
 るものを撰び

候、然處今度大方諸君の御勸めに従ひ、壽し  
 店開業仕候に付、爾今何分にも御最負被下候  
 様奉謹願候、就ては元料諸品の最も良きもの  
 へみ相撰び、直段勉強及ぶ限りの逸物をば、  
 御用可奉供候敬述

(一二二)牛肉店開業

小賣 百目何拾錢 鍋御一人前 何拾錢  
 謹んで廣告仕候、神戸元地の精肉を取寄せ、  
 來る何月何日より、左記の箇所を開店仕、卸  
 小賣を始ごして、臨時料理の御用に應じ、殊

●日夜朝暮の區  
別なく○晝宵朝夕  
の御遠慮なく●多  
少に御構ひなく○  
多寡御用捨なく  
●(二四)鶏肉大安賣  
●常時○平素○日  
常●勉業○勵業●  
日増盛榮○追々隆  
昇○漸次賑昌●欣  
嬉無疆○恐嬉多々  
●何日を以て○何  
日と期定し●以前  
に増る○舊に勝る  
●御惠願○御惠慮

更勉強可仕候間、晝夜朝夕を御構ひなく、尙  
多少に係はらず、御命示の程奉希候頓首

牛肉店

何々樓

(二四)鶏肉大安賣

三日拾錢以上御買上げ  
の方へは鹿景進呈

常々大勉強を以て營業罷在候處、大方諸君の  
御惠願に依り、日増繁昌仕、既に五週年の今  
日に至り、勉強鶏肉の評判高く、店員一同大  
慶欣喜不斜候、就ては來る何日を期し、五週  
年祝として、二割込み大安賣り仕候間、何卒

●御用の程奉仰候  
○御下命被下候様  
奉祈上候

(二五)會席料理

●拙者儀四方華客  
の御惠告に従ひ○  
私事世間諸彦の御  
懇導に依り●心底  
に候○心得に候●  
餘興相催し○福引  
當物相催し●諸所  
御知己御朋友を誘  
はれ○御懇意の方

陪舊御用被仰附度、伏して奉願上候、右  
謹んで廣告仕候稽首

(二五)會席料理

私事世の華客様より御勸めを蒙り、中島公園  
西手に於て、會席料理店を設け、來る何日よ  
り、營業の心組に御座候、尤も當日より向三  
日間、聊祝意を表し度、御座興として、福引  
相催し、尙御印までに、粗末ながら御土産進  
上可仕候間、諸所御知友を始め、御懇意の方



御同道○御誘引  
御同伴

(二六)西洋料理

○千萬里外の各國  
○萬里遠洋の國々  
○勢よく○勇氣溢  
れて○千萬年の太  
古より○年度無端  
の古より○歐米流  
新料理○歐米諸國  
新様料理○妙手○  
○賞賛の言葉○賞  
美の聲○際○時節  
○時期○折節○御

々御連合せ、永當々々御來席の程奉願候

大阪市中島公園西隣

愉快樓主 白謹

(二六)

西洋料理 上等 三圓以上 中等二圓五十錢 御好次第 並等五十錢ヨリ 一圓迄

數千里外の國々より、最勇ましく來ませる君も、  
萬々年の古より、御最負被下内地の方も  
西洋料理の名手と云へば、直に庖丁齋と御  
賞美を蒙り、諸所御招きに預りては、遠近に  
走参り、御用を勤め來れる折柄、或る御方の

誠告に由り○御愛  
告に因り○御親示

○御惠告○續々御  
光來○永當く御

入來○間斷なく御  
來車○始終御枉駕

○御下命の程奉仰  
候○御用被仰聞度

奉請上候○一心に  
奉祈上候○奉懇願

候

(二七)御手輕料理

並に辨當仕出し

○杖に咲花色々ど

○梢に盛る花と花

御勸めに依り、京都丸山に於て、來幾日を以  
て、西洋料理店開業可仕候間、同日より續々  
御光臨御用被仰附候様偏に奉願候恭白

元庖丁齋事

年月日 現時丸山 泰西樓主

(二七)

御手輕料理並に

辨當仕出し

東西々々所は名高き櫻町、梢の花の色々々、  
御手輕料理千種萬類、夫鯉の濃醬煮よ、鮎の

●千狀萬態○種々  
 異様●御望み通り  
 ○御意の通り○御  
 企望通り●庖丁按  
 配○料理●鹽梅○割  
 烹加減●極めて輕  
 便に○最簡便に○  
 至極手短に●調製  
 ○献立●遷延る○  
 遲疑る●早業○急  
 技●忽然○遽然○  
 直に○最速に●御  
 愛子方○御令息御  
 令嬢●急々の御命  
 ○突然の御用●春

絲製りよ、是鯛の濱焼きよ、鮑魚の袋煮よ  
 御好み次第の庖丁加減、最も手輕に即席料理  
 決して御待せ申すまじ、矢よりも早く調進し  
 て、否々そんなに遅延るまじ、電氣に後れぬ  
 速術にて、忽ち膳部相整ひ、瞬間に御用に應  
 じ、尙精々の勉強にて、頗る安價に差上げま  
 すれば、知己朋友の方々より、御子様方まで  
 御同道、續々御出掛け被下ませ、又臨時の御  
 用にて、辨當仕出しの便利も有之、四季相應  
 の別品料理、天下一なる味なれば、自慢らし

夏秋冬特殊の料理  
 ○四季に適へる御  
 料理向き●天下唯  
 一○海内無雙●斯  
 く謹告○如此に廣  
 告致候也

(二八) 牡蠣料理

くも斯く御披露  
 遠く棚引く雲の色、彼處あたりは安藝國、牡  
 蠣船槽出す浪の上、百里餘りも航渡り來て、  
 蘆が散るてふ浪華津の、西に東に錨を停留め  
 御手輕料理の御用をば、御勤め申す萬代船、  
 親切叮嚀を目的として、御立寄りの程奉希候

○雄浪難波を漕分  
 ち●押照るや浪速  
 の國○蘆が散る浪  
 華海●懇切篤實

年月日

大阪市東區本  
 通橋西詰河岸

牡蠣船  
 盛榮軒

(二九) 味噌色々  
 ◎種類数々○種類  
 数多く○種類澤山  
 なり◎一種特別の  
 品あり○特殊の趣  
 きあり◎色々の品  
 あれども○異種少  
 からず◎他年の賞  
 験○数年の経験○  
 従來の試験◎味合  
 佳良○風味清好◎  
 高評に預り○好評  
 を蒙り○贊評を賜  
 はり◎盛大○隆盛

(二九) 味噌色々

目方澤山  
 風味好良

味噌の種類たるや、數十餘通りにして、格別の特色あり、五斗味噌、白味噌、八丁味噌、赤味噌、金山寺味噌、鯛味噌、柚子味噌等を始めこして、其他種々の品あれども、弊舗年來の経験に由り、何れも風味好良なる名品ばかりを製造し、世間に名高き評判を蒙り、茲に益す繁榮罷在候段、偏に華客の御愛顧に因るここ、深く奉鳴謝候、就ては歳暮の御祝

○盛進◎御惠語に  
 由る○御愛誘に基  
 す◎年尾の御祝意  
 ○歳尾の御慶賀○  
 歳末の賀儀◎斯機  
 を脱せず○其期を  
 逸せず  
 (三〇) 罐詰類一切  
 大販賣  
 ◎多々○數多く○  
 無數○無量◎都會  
 阪邑の別なく○盛  
 都寂邑の區ちなく  
 ◎大好評○大評判  
 ○大歓迎○過賞◎

儀を兼ね、三日間割引大販賣仕候のみならず別に景物進呈仕候事故、此期を逃さず陸續御注文の程奉願候以上

(三〇) 罐詰類一切大販賣

牛肉、羊肉、豚肉、鶏肉、鮭、荀、草、其外數十種

近來罐詰の流行夥多く、東西遠近の如何を問はず、南北都鄙の如何を論せず、夫れ牛の罐詰よ、ヤレ鮭の罐詰よこ、ヤンヤンヤの大喝采、戦争陣地は素りのここ、旅行山行、避

勿論○云ふを俟た  
 ず◎要用なること  
 を覺り○緊要○切  
 要◎遂次盛榮○次  
 第に隆盛◎秀逸の  
 品と認め○卓絶な  
 る名品と認定め◎  
 晝夜間隙なく○日  
 夜寸間なく○朝夕  
 綿々◎欣喜々々○  
 林舞欣踏◎大恩○  
 宏恩◎多年○數年  
 を經過す○月日を  
 疊ぬることも◎腐蝕  
 の虞○腐爛

暑避寒、何れも罐詰の必用を感じ、日増隆盛  
 に赴くに從ひ、弊店製造の罐詰を以て、世界  
 優等の品と認められ、殊更御最負御愛顧を賜  
 はり、日夜間斷なく御用を蒙り、今更感喜雀  
 躍の外無之候、就ては斯る御厚恩に奉報度、  
 一層二層注意を加へ、元料をば精撰し、如何  
 に數年を重ぬることも、決して腐敗の虞なき、  
 最上品を製造し、大勉強大奮發、無類飛切り  
 の安直を以て、大販賣仕候間、平素の御懇慮  
 に任せられ、陸續御購上げ被下候様奉希上候

頓首敬白

(三二) 干物類發賣廣告

(三二) 干物類發賣  
 ◎土地の遠近を論  
 せず○四方の如何  
 に係はらず○國內  
 何れにも◎日常必  
 用の補助食品○常  
 々食用の補助物◎  
 危製の品多々あり  
 ○疎造の悪品極め  
 て多く◎表面を飾  
 り○外面を美にし  
 ◎邪行○奸謀曲事  
 ◎警戒○戒心○災  
 禍○害毒○災厄◎  
 御ぎ○凌ぎ○防護

世間東西を問はず、遠近南北を論せず、日常  
 食物の補助品として、干物一切の必用なるこ  
 と、今更申すまでもなし、然れども疎製濫  
 造の品少なからず、隨分色附けを以て体面を  
 装ひ、不正の行爲を弄ぶものあり、弊店特に  
 戒むるところあり、斯る奸商の爲、災害を蒙  
 らるゝ、鴻湖諸君の御難儀を奉防度、尙平素